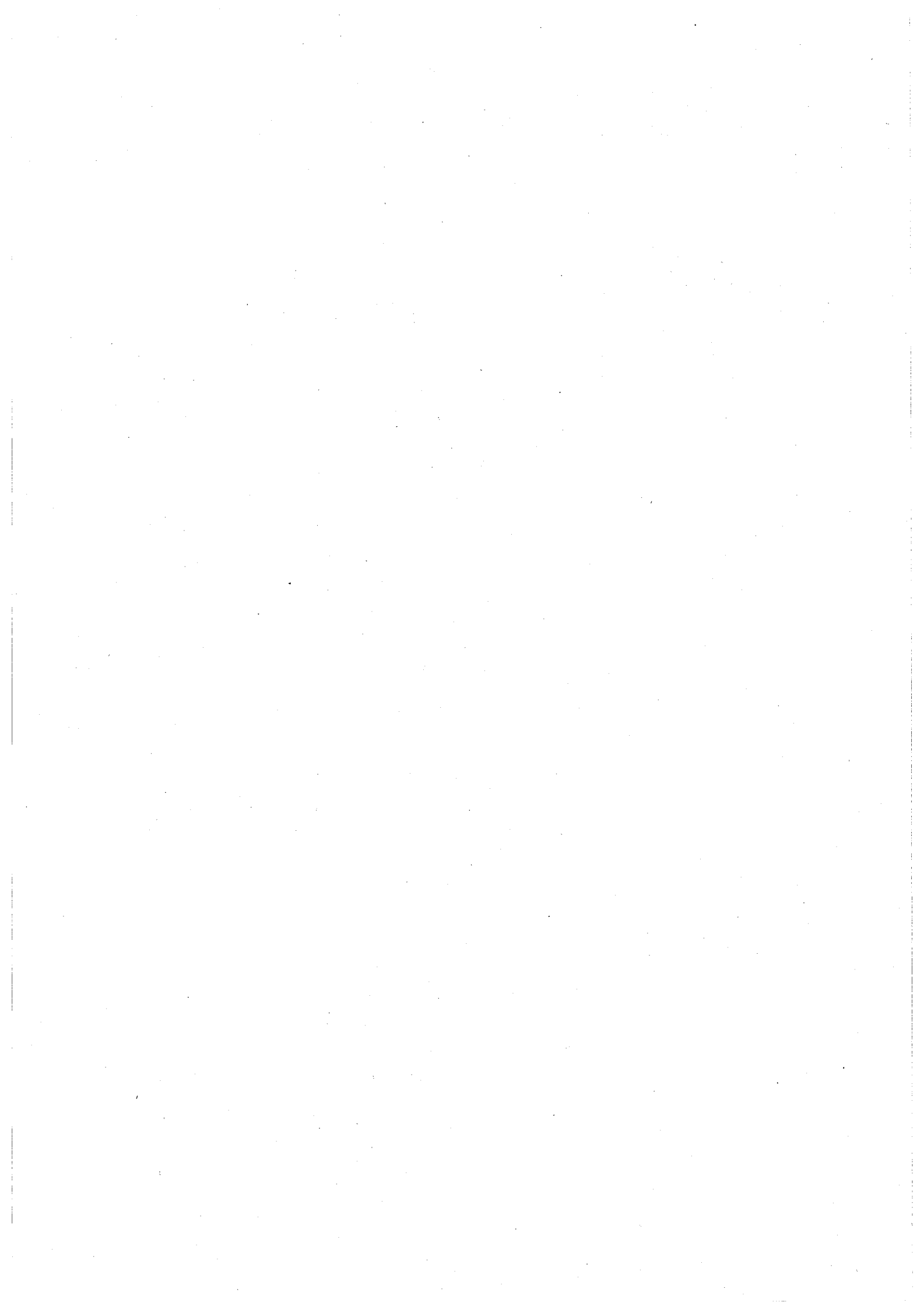


資 料



1 環境試料の放射能測定実績

表-1 (1) 宮城県実施分

平成22年度

区分	調査対象	測定試料	測定地点	採取月												備考		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
陸上試料	農産物	精米	谷川									○						
		大根	根葉根葉	横浦									○					
			根葉根葉	谷川									○					
	陸水	水道原水	野々浜				○											
			前網浜				○	H										
	陸土	未耕地	谷川浜			○												
			大崎市岩出山			○												対照地点
	浮遊じん	浮遊じん	女川MS		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			鮫浦MS		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	降下物	雨水・ちり	原子力センター		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
保健環境センター				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			対照地点		
飯子浜MS					○				○			○						
鮫浦MS					○					○		○						
指標植物	ヨモギ	谷川				○												
		大崎市岩出山				○												
海洋試料	魚介類	アイナメ	前面海域				○											
		ホヤ	小屋取			○												
			塚浜			○												
		カキ	飯子浜								○							
	竹浦										○							
	出島										○							
	海藻	ワカメ	気仙沼								○				対照地点			
			放水口付近										○					
	海水	表層水	放水口付近		○				☆	☆		☆						
			鮫浦湾		○							○						
気仙沼湾											○			対照地点				
気仙沼湾											H							
海底土	表層土	放水口付近		○							○							
		鮫浦湾		○							○							
		気仙沼湾									○			対照地点				
指標海産物	アラメ	放水口付近		○			○				○							
		牡鹿半島北部		☆			☆				☆			対照地点				
		牡鹿半島西部		☆			☆				☆			対照地点				
		牡鹿半島西部		☆			☆				☆			対照地点				
検体数	Ge検出器による核種分析	ムラサキイガイ	前面海域	○							○							
		Ge検出器による核種分析		5	17	11	9	11	8	8	23	6			計100検体			
		Sr-90放射化学分析			1	1	3	1			1	2			計 9検体			
	H-3分析			1		2				1	1			計 5検体				

注1：○印は、ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析
 注2：◎印は、ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析及びストロンチウム90の放射化学分析
 注3：☆印は、迅速法による核種分析 (Ge半導体検出器を使用)
 注4：H印は、トリチウム(H-3)分析

表-1 (2) 東北電力実施分

平成22年度

区分	調査対象	測定試料	測定地点	採取月												備考		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
陸	農産物	精米	谷川								◎							
		大根	根	野々浜								○						
			葉	根	野々浜								○					
		葉	根	野々浜							○							
上	陸水	水道原水	飯子浜			○				○			○			○		
試	陸土	未耕土	牡鹿ゲート付近										◎					
			塚浜MS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	浮遊じん	浮遊じん	前網MS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			寺間MS			○			○			○			○			
			江島MS			○			○			○			○			
	降下物	雨水・ちり	小屋取	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			牡鹿ゲート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			塚浜			○			○			○			○			
	指標植物	ヨモギ	前網				◎											
			小屋取		◎			○			○				○			
松葉		牡鹿ゲート付近		○							○							
		付替県道		○							○							
海	魚介類	アイナメ	前面海域		○						◎							
		ホヤ	小屋取				◎											
		カキ	飯子浜								○			◎				
		ウニ	小屋取				○											
洋	海水	表層水	放水口付近	○	☆		☆	○		○		☆	☆	◎	☆			
			取水口付近	○			○			○				○	○	○		
	海底土	表層土	放水口付近	○			○				◎			○				
			取水口付近	○			○				○			○				
	試	指標海産物	アラメ	前面海域		○			◎			○			○			
				☆		☆		☆		☆		☆		☆				
周辺海域					○			○			○			○				
			牡鹿半島南部		○			○			○		○		対照地点			
			☆		☆		☆		☆		☆		☆					
検体数		Ge検出器による核種分析	前面海域				◎					○						
			ムラサキイガイ											○				
			前面海域				◎							○				
検体数		Sr-90放射化学分析	Ge検出器による核種分析		9	15	11	13	11	9	12	17	11	11	11	9	計 139検体	
			Sr-90放射化学分析			2		3	1			3		1	2			計 12検体
			H-3分析				1	2							1	2		

注1：○印は、ゲルマニウム (Ge) 半導体検出器による核種分析
 注2：◎印は、ゲルマニウム (Ge) 半導体検出器による核種分析及びストロンチウム90の放射化学分析
 注3：☆印は、迅速法による核種分析 (Ge半導体検出器を使用)
 注4：H印は、トリチウム (H-3) 分析

2 調査地点

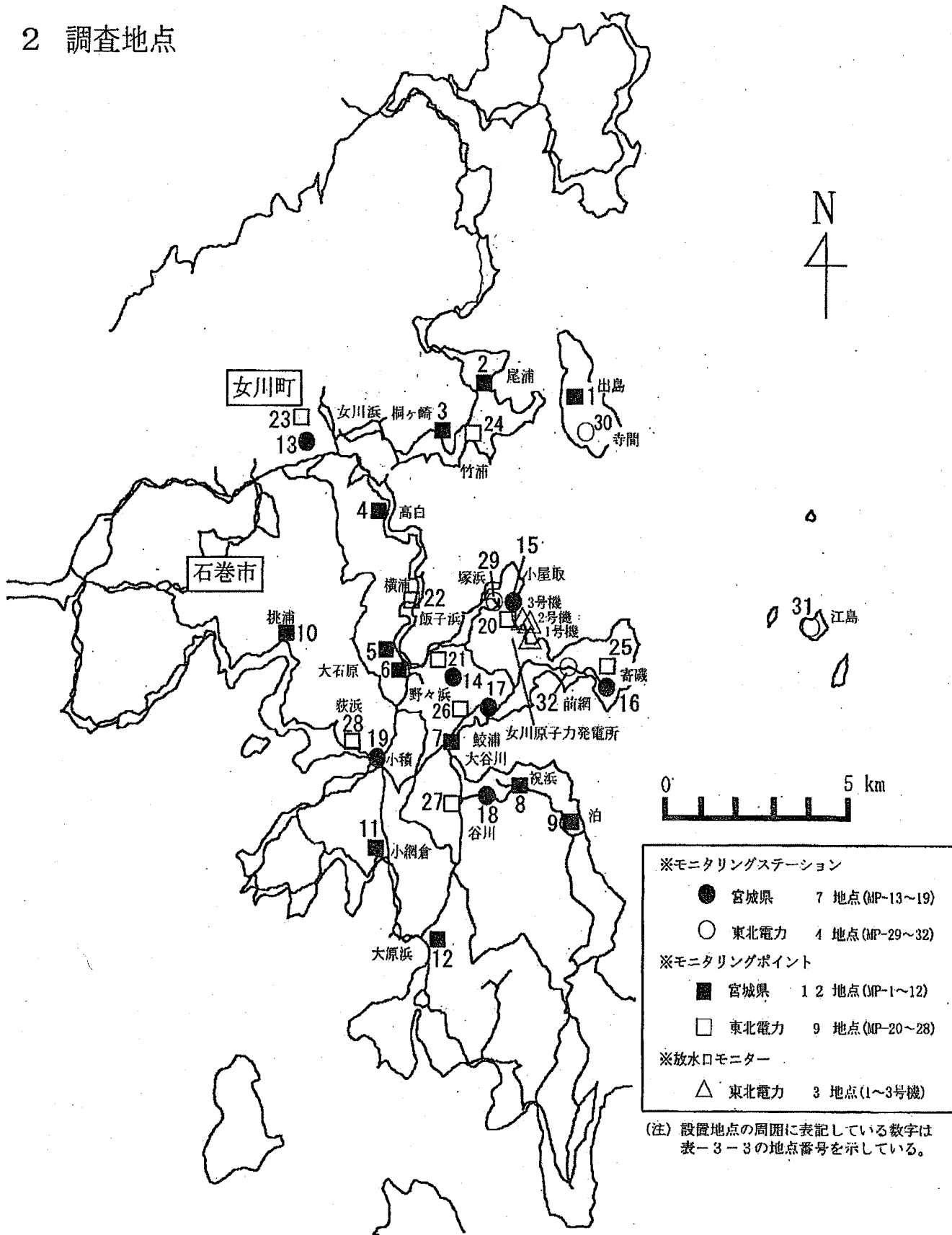
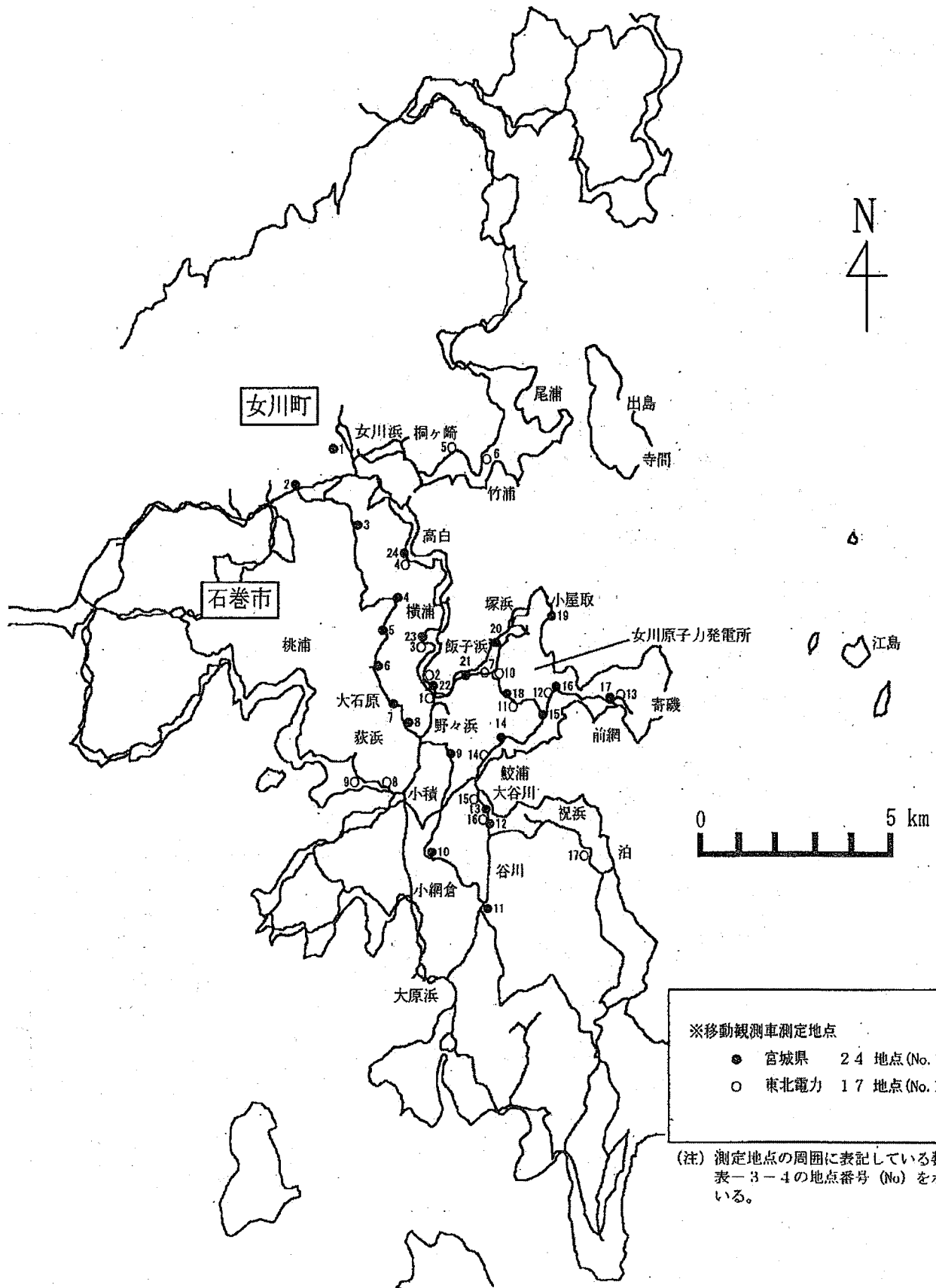


図-2-1 モニタリングステーション、モニタリングポイント及び放水口モニター設置地点



※移動観測車測定地点

- 宮城県 24 地点(No. 1~24)
- 東北電力 17 地点(No. 1~17)

(注) 測定地点の周囲に表記している数字は表-3-4の地点番号(No.)を示している。

図-2-2 移動観測車測定地点

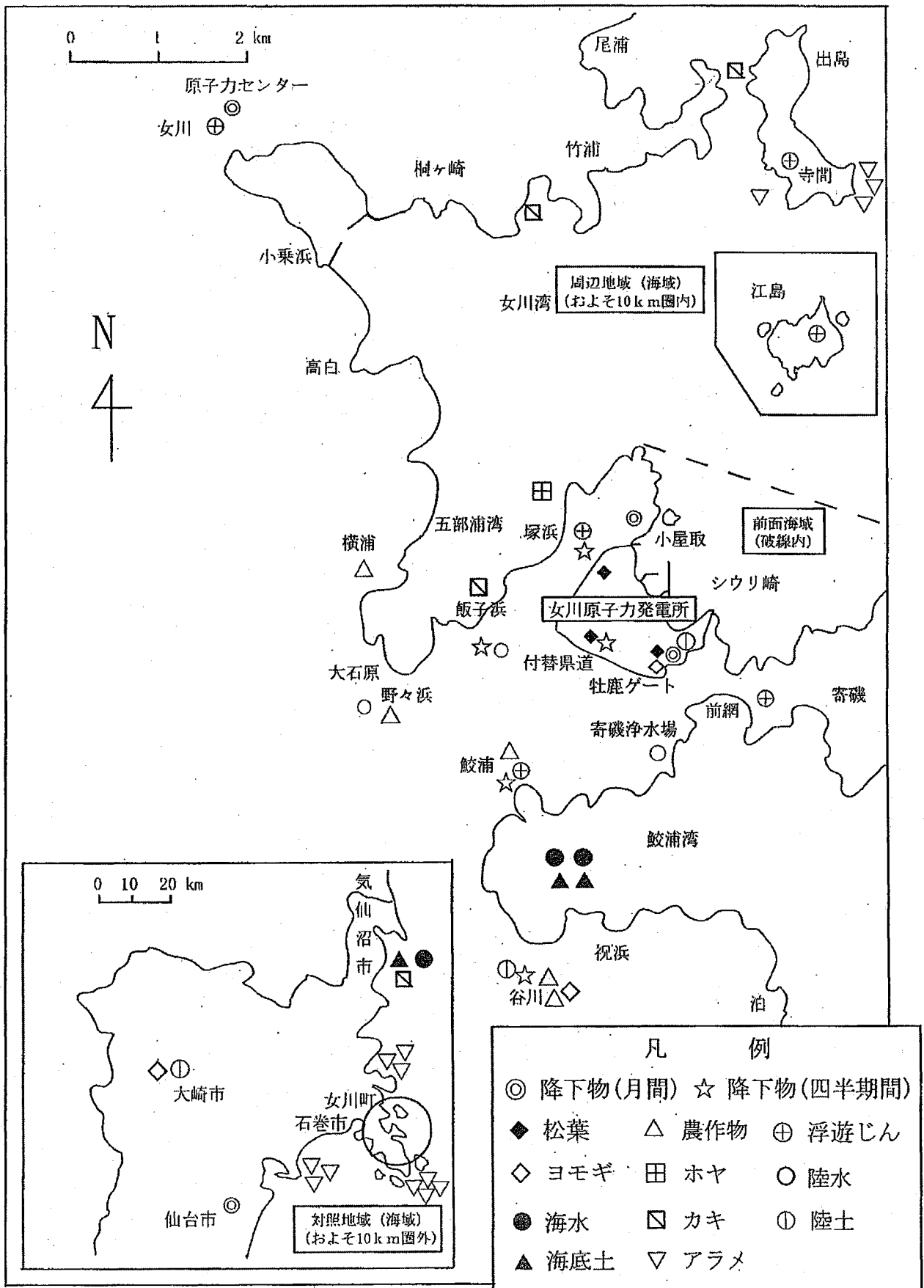


図-2-3 環境試料採取地点 (1)

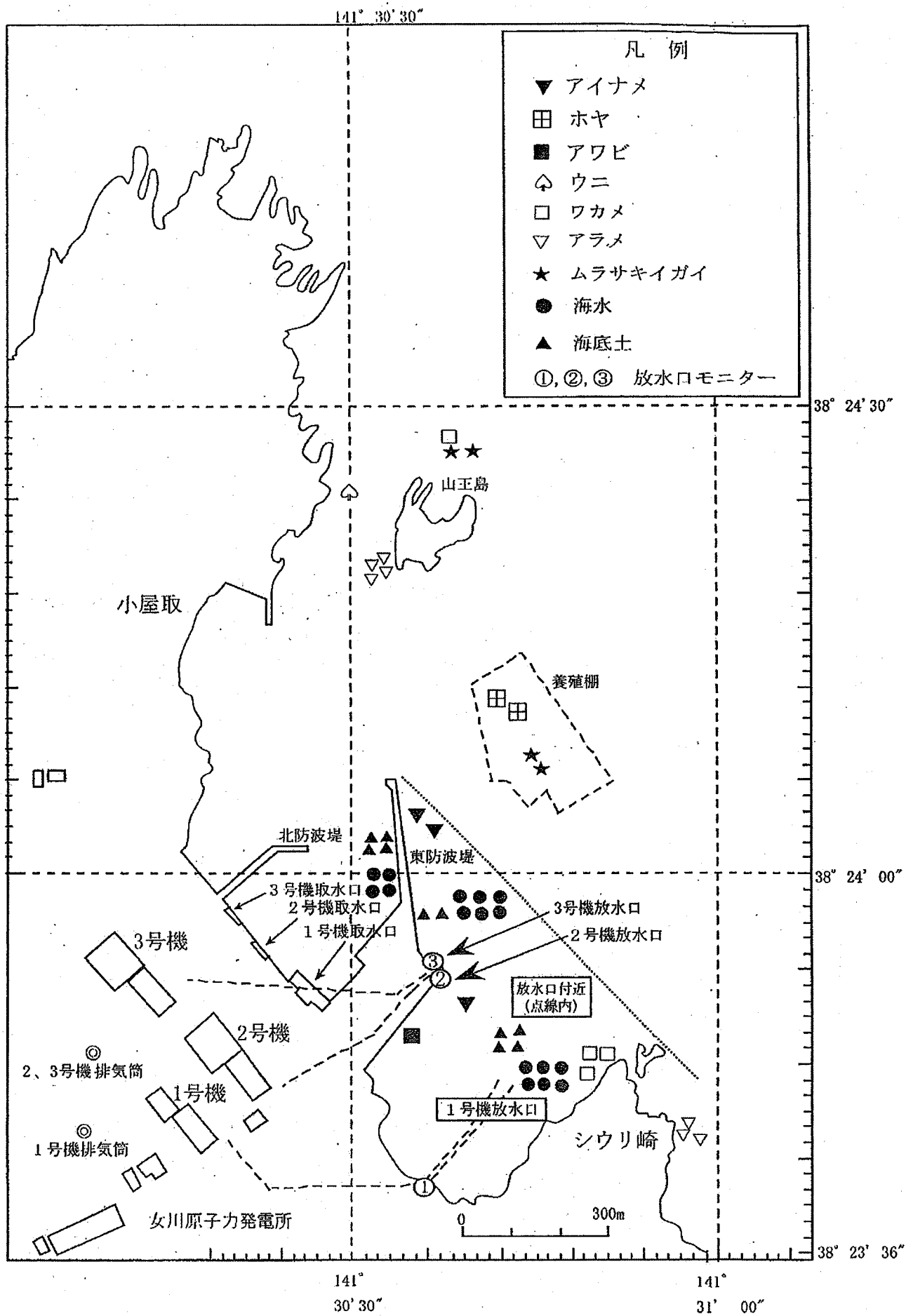


図-2-4 環境試料採取地点 (2)

3 測定方法及び測定機器等

(1) 測定方法及び測定機器

イ 環境試料の採取

「環境試料採取法」(昭和58年文部科学省)による。

ロ 大気浮遊じんの採取

調査機関	ダストサンプラー形式	流量
宮城県	応用光研 S-2766	約30 l/分
東北電力(株)	アロカ DSM-R41-21069	約150 l/分

ハ モニタリングステーションにおける空間ガンマ線線量率の測定

調査機関	測定方法		測定器
宮城県	① NaI(Tl)検出器	NaI(Tl)検出器とスペクトロメータの組み合わせによりG(E)関数法で処理し、吸収線量率を連続測定する方法	検出器： アロカ製 ADP-132UR1型 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器、下方2π鉛遮へい、恒温装置付 スペクトロメータ： アロカ製 ASM-352型
	② 電離箱式検出器	電離箱により照射線量率を連続測定し、吸収線量率に換算する方法	検出器： アロカ製 RIC338型 Arガス封入球形加重電離箱式検出器、有効容積 約14l
	③ データ収集	テレメータシステムによる10分ごとのデータ収集	
東北電力(株)	① NaI(Tl)検出器	NaI(Tl)検出器とスペクトロメータの組み合わせによりG(E)関数法で処理し、吸収線量率を連続測定する方法	検出器： アロカ製 ADP-132型 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器、下方2π鉛遮へい、恒温装置付 スペクトロメータ： アロカ製 ASM-357型
	② 電離箱式検出器	電離箱により照射線量率を連続測定し、吸収線量率に換算する方法	検出器： アロカ製 RIC338型 Arガス封入球形加重電離箱式検出器、有効容量 約14l
	③ データ収集	テレメータシステムによる10分ごとのデータ収集	

ニ 海水(放水)中の全ガンマ線計数率の測定

調査機関	測定方法	測定器
東北電力(株)	各号機の放水路から陸上に設置した遮へい容器に海水(放水)を汲み上げ、検出器で全ガンマ線計数率を連続的に測定する方法 テレメータシステムによる10分毎のデータ収集	1号機：三菱電機製、 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器 2号機：アロカ製、 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器 3号機：三菱電機製、 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器

ホ 空間ガンマ線積算線量の測定

調査機関	測定方法	測定器	読み取り装置の校正
宮城県	各地点(モニタリングポイント及びモニタリングステーション)に3本(6素子)のTDL素子を配置し、3か月間の積算線量を測定する。測定値は90日換算値で表わす。	松下電器産業 UD-5160PUD-200S	Cs-137(3.7GBq) 標準照射装置による
東北電力(株)		松下電器産業 UD-5120PUD-200S	Cs-137(7.4GBq) Cs-137(1.11TBq) 標準照射装置による

ヘ 移動観測車による空間ガンマ線線量率の測定

調査機関	測定方法	測定器
宮城県	NaI(Tl)検出器とスペクトロメータの組み合わせによりG(E)関数法で処理し、吸収線量率を連続測定する方法	検出器： アロカ製 ADP-132型 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器、温度補償型 スペクトロメータ： アロカ製 ASM-306型
東北電力(株)		検出器： アロカ製 ADP-1132型 3"φ×3" NaI(Tl)シンチレーション検出器、温度補償型 スペクトロメータ： アロカ製 ASM-R41型

ト ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

① 測定方法

「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー(平成4年3訂 文部科学省)」による。

測定試料	試料形態	測定供試料量*1	計測時間	報告単位
農産物	灰化物	灰 20g以上	30000～ 80000秒	Bq/kg生
陸水	蒸発濃縮物	10l以上		mBq/l
陸土	乾土	乾土 100g程度		Bq/kg乾土
浮遊じん	宮城県：ろ紙HE-40T、CP-20 東北電力：ろ紙 HE-40T 灰化	1000m ³ 以上		mBq/m ³
降下物	月間	蒸発濃縮物	0.5m ³ 以上	Bq/m ²
	四半期間	蒸発濃縮物	0.166m ³ 以上	
指標植物	灰化物	灰 20g以上		Bq/kg生
魚介藻類	灰化物	灰 20g以上		Bq/kg生
海水	共沈法：AMP-MnO ₂ 共沈物	20l以上		mBq/l
	迅速法：未処理海水*2	2l		mBq/l
海底土	乾土	乾土 100g程度		Bq/kg乾土
指標海産物	灰化法：灰化物	灰 20g以上		Bq/kg生
	迅速法：生または乾燥物*3	生 1kg相当以上		

*1 降下物の測定供試料量の欄は、試料採取容器の開口部面積を表す。

*2 I(ヨウ素)-131も測定対象とするため。

*3 I-131を測定対象とするため。対象はアラメのみ。

② 測定器

調査機関	測 定 器	
宮 城 県	オルテック	高純度Ge半導体検出器(相対効率* 51, 55%)
	セイコーEG&G	7700型多重波高分析装置
東北電力	キャンベラ	高純度Ge半導体検出器(相対効率* 42, 43, 44%)
	キャンベラ	DSA-2000A型 多重波高分析装置

* 相対効率とは、距離25cmにおける⁶⁰Coの1.33MeVガンマ線に対する3"φ×3"NaI(Tl)の効率に対する相対値を表す。

チ ストロンチウム—90の分析

調査機関	分 析 方 法	測 定 器
宮 城 県	放射性ストロンチウム分析法(平成15年4訂文部科学省)による	低バックグラウンド放射能自動測定装置 アロカ LBC-4202
東北電力		低バックグラウンド放射能自動測定装置 アロカ LBC-4301

リ トリチウムの分析

調査機関	分 析 方 法	測 定 器
宮 城 県	トリチウム分析法(平成14年2訂文部科学省)による	低バックグラウンド液体シンチレーション カウンター アロカ LSC-LBV
東北電力		低バックグラウンド液体シンチレーション カウンター アロカ LSC-LBV

ヌ 気象観測

調査機関	観 測 方 法	観 測 装 置
宮 城 県	主に「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年一部改訂 原子力安全委員会)」による	風向風速計 小笠原計器 WS-B56型(小積局以外) WS-B16型(小積局)
		雨雪量計 小笠原計器 RS-222型
		感雨雪計 小笠原計器 NS-100型
		温度計 小笠原計器 TS-3D1型(小積局以外) TS-3D0型(小積局)
		日射計 英弘精機 MS-402F型
		放射収支計 英弘精機 MF-11型
		土壌水分計 大起理化工業 DIK-321A型
東北電力		風向風速計 小笠原計器 WS-111型 雨雪量計 小笠原計器 RS-222型 感雨雪計 小笠原計器 NS-100型

(2) 検出下限値及び数値の表し方

イ 検出下限値

① ゲルマニウム半導体検出器

検出下限値は、試料の測定値（正味係数）の標準偏差の3倍とする。

② Sr（ストロンチウム）-90及びH-3（トリチウム）の分析検出下限値は、試料の測定値（正味計数）の標準偏差の3倍とする。

ロ 数値の表し方

本報告書では、測定結果は以下の規定に従って表示する。数値の丸め方は、表示数値を（n）桁とする場合、（n+1）桁まで計算し（n+1）桁を四捨五入する。

① 環境放射線

(イ) TDLによる90日または365日間の空間ガンマ線積算線量のデータは、ミリグレイ単位で小数点以下2桁目まで表示する。

(ロ) 空間ガンマ線線量率のデータは、ナノグレイ毎時単位で小数点以下1桁目まで表示する

(ハ) 降水量は、最小計量単位である0.5mm以上の降水（雨雪）量を表示する。

(ニ) 感雨は、感雨（雪）のないときは「」（空白）とし、感雨（雪）があったときは「○」（まる）を表示する。

(ホ) 測定対象外項目は「/」（斜線）、欠測した時は「-」（ハイフン）とする。

② 環境放射能

(イ) データはすべて統計誤差（ 1σ ）を併記する。

(ロ) データの表示数値は原則として2桁とする。

(ハ) 統計誤差（計測誤差）は原則として測定値と同じ位まで表示する。ただし、測定値に比べて統計誤差が2桁以上小さく、3桁目以下の場合はその最上位桁のみを表示する。

(例) $69.07 \pm 14.32 \rightarrow 69 \pm 14$

$69.07 \pm 1.032 \rightarrow 69 \pm 1$

$69.07 \pm 0.1032 \rightarrow 69.1 \pm 0.1$

$69.07 \pm 0.01031 \rightarrow 69.07 \pm 0.01$

$69.07 \pm 0.964 \rightarrow 69.1 \pm 1.0$

(ニ) 測定対象外の項目は「/」（斜線）、欠測した項目は「」（空白）とする。

(ホ) 測定結果が検出下限値よりも小さいものは「ND」（Not Detected）とする。ただし、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果については以下の方法で表示する

1) 検出下限値未満であるがスペクトルに光電ピークが存在する場合は、その時の検出下限値を「（）」（カッコ）でくくって表紙する。

2) 検出下限値未満であり、かつスペクトルに光電ピークが存在しない場合は、「ND」（Not Detected）で表示する。

(ヘ) 測定時間はライブタイムで表示し、単位は「秒」とする。

(ト) 陸土の分析結果の換算係数は、Bq/kg乾土からBq/m²へ乗数を表す。

③ 海水放射線

単位はcpmとし、整数値で表す。

4 測定結果

(1)モニタリングステーションでの測定結果

イ 年間測定値

表-4-1-1 電離箱検出器による空間ガンマ線線量率測定結果 *1

単位：nGy/h

調査機関	局名	項目	今年度値	前年度までの測定値(参考)*2
宮 城 県	女川	平均値	63.7	58.4 ~ 65.1
		最大値	90.2	79.8 ~ 103.3
		最小値	58.5	53.7 ~ 59.8
	飯子浜	平均値	75.0	74.7 ~ 78.0
		最大値	102.2	101.7 ~ 121.8
		最小値	70.5	60.3 ~ 73.1
	小屋取	平均値	74.6	73.5 ~ 83.0
		最大値	105.5	95.2 ~ 124.3
		最小値	69.0	67.0 ~ 78.0
	寄磯	平均値	68.1	66.0 ~ 70.6
		最大値	98.0	85.5 ~ 105.0
		最小値	63.5	61.2 ~ 66.3
鮫浦	平均値	71.3	70.0 ~ 77.5	
	最大値	101.0	93.7 ~ 120.7	
	最小値	65.0	62.1 ~ 70.0	
谷川	平均値	70.4	64.1 ~ 70.8	
	最大値	98.7	90.2 ~ 125.7	
	最小値	64.3	56.7 ~ 65.0	
小積	平均値	76.6	75.9 ~ 77.1	
	最大値	104.7	100.8 ~ 121.3	
	最小値	72.2	70.2 ~ 71.7	
東北電力	塚浜	平均値	73.6	73.6 ~ 80.4
		最大値	104.0	93.5 ~ 126.3
		最小値	68.7	68.2 ~ 76.8
	寺間	平均値	67.3	66.8 ~ 74.5
		最大値	99.9	85.5 ~ 121.0
		最小値	63.0	61.4 ~ 71.6
	江島	平均値	62.6	61.3 ~ 68.7
		最大値	95.6	77.8 ~ 103.3
		最小値	58.6	56.4 ~ 65.5
	前網	平均値	77.8	76.8 ~ 83.0
		最大値	110.1	85.3 ~ 126.3
		最小値	73.0	69.7 ~ 79.7

*1 各測定値は、いずれも10分値から求めたものである。

*2 「前年度までの測定値」は、小屋取、鮫浦局は昭和57年度から、女川、飯子浜、寄磯、谷川局は昭和58年度から、塚浜、寺間、江島、前網局は昭和59年度から、小積局は平成13年度からの測定値について、各年度毎に求めた平均値、最大値、最小値の範囲を参考として示した。

平成22年度

表-4-1-2 年間風速出現頻度

単位：%

調査機関	局名	風速 (m/s)										欠測率			
		CALM*1	≤1	≤2	≤3	≤4	≤5	≤6	≤7	≤8	≤9		≤10	>10	
宮城県	女川	17.4	31.4	29.1	12.5	5.7	2.4	0.8	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	5.7
	飯子浜	10.9	33.0	35.1	11.4	5.9	2.3	0.8	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	小屋取	37.9	31.4	24.3	5.2	0.8	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	寄磯	8.7	17.1	31.8	17.4	10.7	6.5	3.6	1.8	0.9	0.6	0.3	0.5	0.5	5.6
	鮫浦	15.5	26.6	29.2	17.6	7.5	2.4	0.8	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
	谷川	8.2	17.0	23.0	19.8	14.1	8.5	4.7	2.2	1.2	0.6	0.2	0.4	0.4	5.6
	小積	9.7	24.0	33.8	17.3	7.9	3.7	2.0	1.0	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	6.0
	塚浜	52.9	24.9	17.3	4.2	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8
	寺間	30.4	23.9	24.4	11.6	5.6	2.4	1.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8
	江島	4.9	13.4	23.2	16.6	9.8	6.4	5.4	4.9	4.4	3.7	2.9	4.4	4.4	5.8
前網	34.5	24.9	22.2	9.8	4.5	1.9	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	5.8	

*1 CALMは、0.5m/秒未満を表わす。

表-4-1-3 年間大気安定度出現頻度

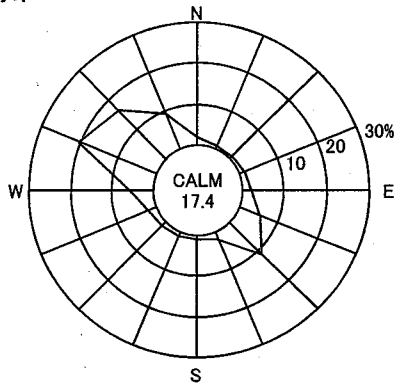
単位：%

調査機関	局名	大気安定度*2										欠測率
		A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	
宮城県	女川	4.0	9.1	10.7	1.4	3.7	0.8	32.0	1.2	2.3	34.9	5.7
	鮫浦	3.3	9.4	11.0	1.6	3.2	0.5	39.2	2.4	3.3	26.1	5.7
	小積	2.3	8.8	10.6	1.6	3.7	1.4	36.8	2.3	2.3	30.2	6.1

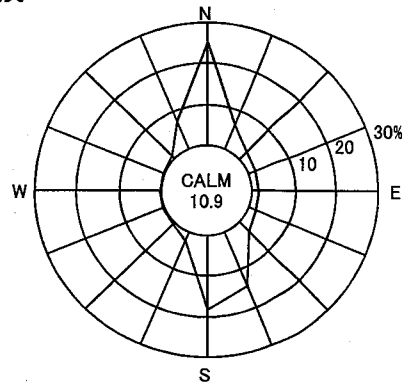
*2 A：強不安定、B：並不安定、C：弱不安定、D：中立、E：弱安定、F：並安定、G：強安定
(原子力安全委員会、「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」の分類による)

平成22年度

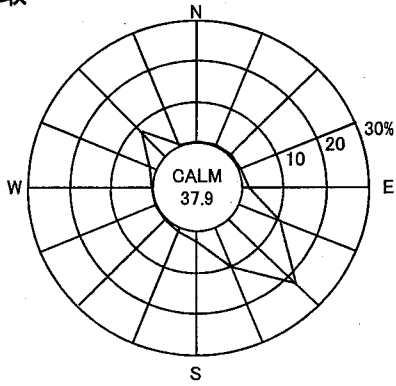
女川



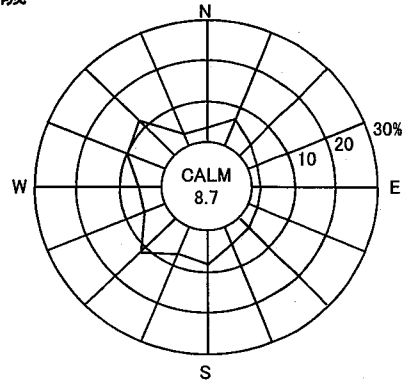
飯子浜



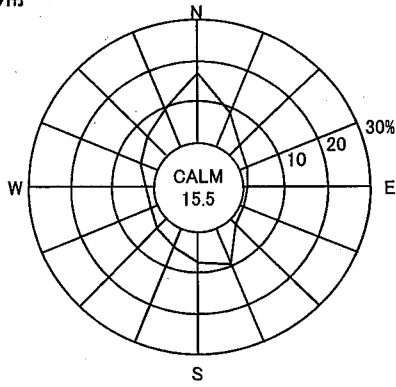
小屋取



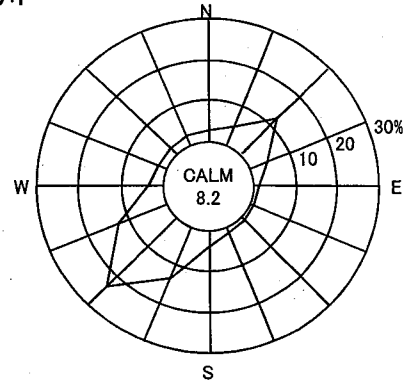
寄磯



鮫浦



谷川



小積

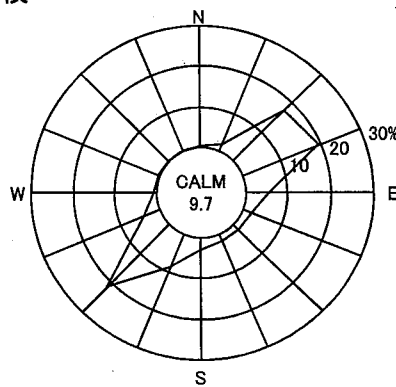


図-4-1-1 年間風配図(宮城県調査分)

平成22年度

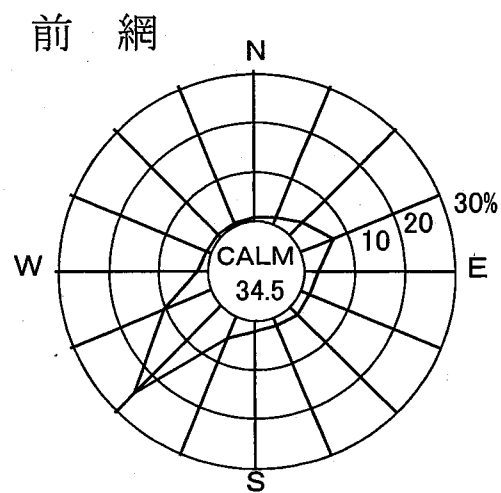
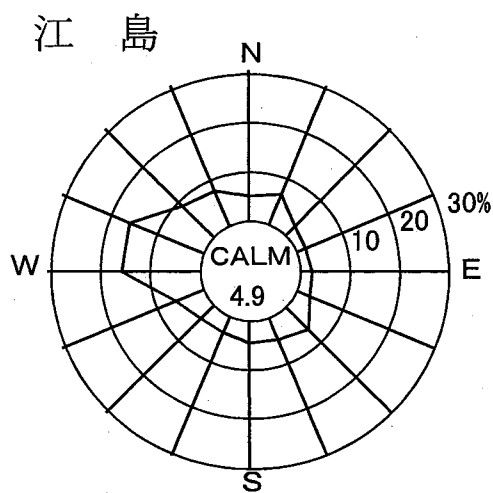
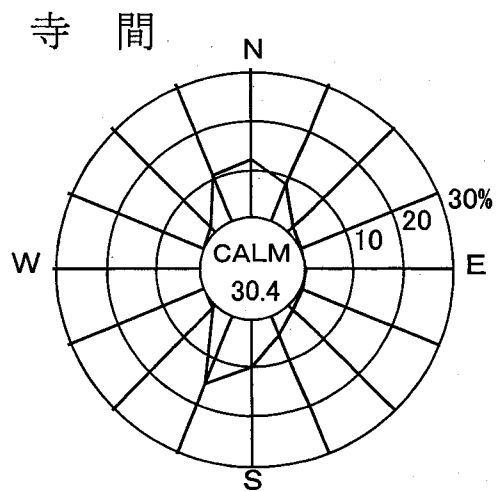
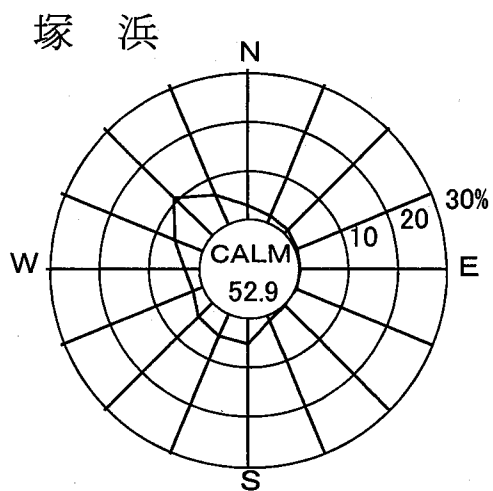


図-4-1-2 年間風配図(東北電力調査分)

平成22年度

口 月間測定値

表-4-1-4 女川局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.3	62.8	11.3	63.0	11.4	62.9
標準偏差 (nGy/h)	1.1	2.4	1.4	3.1	1.1	2.2
最頻値 (nGy/h)	10.8	62.0	11.0	62.3	10.8	61.8
最大値 (nGy/h)	24.6	90.2	21.1	85.3	20.9	79.8
最小値 (nGy/h)	10.0	58.8	9.9	58.5	9.8	59.2
積算値 (μGy)	8.14	45.21	8.40	46.83	8.04	44.51
*1 積算降水増分 (μGy)	0.28	0.62	0.34	0.69	0.21	0.41
*1 降水増加率 (nGy/mm)	1.4	3.0	1.4	2.8	2.1	4.0
最多出現風向	WNW		SE		SE	
平均風速 (m/s)	1.8		1.8		1.5	
降水量 (mm)	207.5		250.0		103.5	
平均土壌水分 (%)	92.8 ± 1.8		92.3 ± 1.5		90.3 ± 1.6	
平均気温 (°C)	7.2		13.3		19.0	
最多出現大気安定度	D		D		D	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.5	63.1	11.6	63.2	12.1	64.4
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.0	1.2	2.2	1.9	3.9
最頻値 (nGy/h)	10.8	62.0	11.2	62.2	11.1	63.0
最大値 (nGy/h)	17.5	75.2	22.9	86.7	24.3	89.3
最小値 (nGy/h)	10.0	59.5	10.0	59.2	10.3	59.3
積算値 (μGy)	8.53	46.92	8.65	47.00	8.67	46.18
積算降水増分 (μGy)	0.30	0.56	0.11	0.23	0.48	0.95
降水増加率 (nGy/mm)	3.6	6.8	3.2	6.6	1.7	3.4
最多出現風向	SE		WNW		WNW	
平均風速 (m/s)	1.3		1.2		1.3	
降水量 (mm)	81.5		35.0		276.0	
平均土壌水分 (%)	85.5 ± 7.8		59.0 ± 16.4		59.0 ± 18.3	
平均気温 (°C)	24.1		25.7		20.9	
最多出現大気安定度	D		G		D	

*1 積算降水増分とは、その月の降水に伴う線量率上昇の和を表し、降水増加率は、その値を降水量で割った値である。

表-4-1-4 女川局 (2)

月	10		11		12	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.7	63.6	11.8	64.1	12.2	65.3
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.4	0.8	1.7	1.6	3.7
最頻値 (nGy/h)	11.3	63.0	11.7	63.7	11.7	63.7
最大値 (nGy/h)	19.3	81.2	17.5	77.8	21.5	87.7
最小値 (nGy/h)	10.3	59.8	10.3	60.7	10.5	60.5
積算値 (μ Gy)	8.69	47.31	8.44	45.80	9.02	48.14
積算降水増分 (μ Gy)	0.26	0.52	0.13	0.25	0.44	0.98
降水増加率 (nGy/mm)	1.5	2.9	2.8	5.5	3.3	7.3
最多出現風向	NNW		NW		NW	
平均風速 (m/s)	1.3		1.2		1.7	
降水量 (mm)	179.5		45.5		133.0	
平均土壌水分 (%)	71.3 \pm 3.4		67.4 \pm 4.1		74.3 \pm 3.3	
平均気温 ($^{\circ}$ C)	15.5		9.5		5.4	
最多出現大気安定度	D		G		G	

月	1		2		3	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.5	64.0	11.6	64.0	(11.6)	(64.2)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.4	1.1	2.4	(1.0)	(2.3)
最頻値 (nGy/h)	11.3	63.5	11.1	63.3	(11.3)	(63.5)
最大値 (nGy/h)	17.7	77.3	21.5	86.5	(21.0)	(88.0)
最小値 (nGy/h)	10.3	60.8	10.3	59.8	(10.6)	(61.3)
積算値 (μ Gy)	8.54	47.61	7.81	42.99	(2.94)	(16.24)
積算降水増分 (μ Gy)	0.06	0.12	0.18	0.40	(0.05)	(0.13)
降水増加率 (nGy/mm)	7.0	14.9	2.6	5.7	(5.5)	(12.5)
最多出現風向	WNW		WNW		(WNW)	
平均風速 (m/s)	1.4		1.4		(1.3)	
降水量 (mm)	8.0		70.5		(9.5)	
平均土壌水分 (%)	72.2 \pm 1.8		77.6 \pm 4.1		(80.3) \pm (1.2)	
平均気温 ($^{\circ}$ C)	0.0		2.8		(1.4)	
最多出現大気安定度	G		G		(G)	

*2 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*3 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-5 飯子浜局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	19.0	74.3	18.9	74.3	18.9	74.1
標準偏差 (nGy/h)	1.3	2.7	1.5	3.2	1.0	1.9
最頻値 (nGy/h)	18.5	73.2	18.6	73.5	18.5	73.2
最大値 (nGy/h)	32.2	102.2	29.3	96.8	25.3	87.3
最小値 (nGy/h)	17.6	70.5	17.4	70.5	17.4	71.3
積算値 (μGy)	13.69	53.53	14.06	55.30	13.39	52.52
*1 積算降水増分 (μGy)	0.36	0.77	0.34	0.69	0.21	0.40
*1 降水増加率 (nGy/mm)	1.4	3.0	1.4	2.7	1.6	3.0
最多出現風向	N		N		N	
平均風速 (m/s)	1.6		1.6		1.0	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	18.9	74.0	19.4	74.8	20.0	76.2
標準偏差 (nGy/h)	1.1	2.1	1.0	1.8	1.8	3.7
最頻値 (nGy/h)	18.5	73.3	19.6	75.2	19.0	74.5
最大値 (nGy/h)	26.8	90.2	27.4	91.3	31.9	100.8
最小値 (nGy/h)	17.4	70.7	17.7	70.8	18.3	71.8
積算値 (μGy)	14.04	55.08	14.43	55.67	14.40	54.76
積算降水増分 (μGy)	0.28	0.53	0.10	0.19	0.41	0.87
降水増加率 (nGy/mm)	3.1	5.8	8.0	15.5	1.7	3.6
最多出現風向	N		SSE		N	
平均風速 (m/s)	1.1		1.0		1.3	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 積算降水増分及び降水増加率は小屋取局の降水データを使用した。

平成22年度

表-4-1-5 飯子浜局 (2)

月	1 0		1 1		1 2	
項 目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	19.4	74.9	19.5	75.5	19.9	76.6
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.0	0.8	1.7	1.7	3.9
最頻値 (nGy/h)	19.1	74.0	19.4	75.3	19.0	75.5
最大値 (nGy/h)	27.0	92.5	27.0	90.8	31.0	101.7
最小値 (nGy/h)	18.1	71.7	18.0	71.8	18.1	71.5
積算値 (μ Gy)	14.40	55.75	14.06	54.34	14.48	55.84
積算降水増分 (μ Gy)	0.22	0.46	0.11	0.25	0.48	1.06
降水増加率 (nGy/mm)	1.3	2.7	2.4	5.7	3.3	7.2
最多出現風向	S		S		S	
平均風速 (m/s)	1.2		1.6		1.8	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (℃)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	1		2		3	
項 目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	19.1	75.2	19.2	75.1	(19.2)	(75.4)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.6	1.0	2.2	(1.0)	(2.3)
最頻値 (nGy/h)	18.8	74.8	18.9	74.5	(18.9)	(74.7)
最大値 (nGy/h)	28.3	95.0	26.7	92.2	(28.5)	(99.8)
最小値 (nGy/h)	18.1	72.3	18.0	72.0	(18.1)	(72.5)
積算値 (μ Gy)	14.20	55.96	12.92	50.50	(4.84)	(19.05)
積算降水増分 (μ Gy)	0.06	0.15	0.18	0.37	(0.06)	(0.12)
降水増加率 (nGy/mm)	5.5	12.7	2.6	5.5	(7.2)	(15.0)
最多出現風向	N		N		(N)	
平均風速 (m/s)	2.0		1.7		(1.8)	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (℃)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*2 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*3 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-6 小屋取局 (1)

月 項目	4		5		6	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	19.1	74.1	18.9	74.1	18.8	73.6
標準偏差 (nGy/h)	1.5	2.9	1.8	3.4	1.1	2.0
最頻値 (nGy/h)	18.5	73.5	18.5	73.3	18.3	73.0
最大值 (nGy/h)	35.4	105.5	31.3	97.3	26.7	88.0
最小値 (nGy/h)	17.4	69.8	17.4	70.5	17.4	70.5
積算値 (μGy)	13.77	53.36	14.08	55.15	13.28	52.12
積算降水増分(μGy)	0.44	0.83	0.41	0.76	0.25	0.42
降水増加率 (nGy/mm)	1.7	3.3	1.6	3.0	1.9	3.2
最多出現風向	SE		SE		SE	
平均風速 (m/s)	1.0		0.9		0.7	
降水量 (mm)	253.5		254.0		132.5	
平均土壤水分(%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月 項目	7		8		9	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	18.7	73.3	19.5	74.5	20.3	75.9
標準偏差 (nGy/h)	1.1	2.1	1.0	1.8	2.2	3.9
最頻値 (nGy/h)	18.1	72.7	19.4	74.5	19.2	75.3
最大值 (nGy/h)	27.4	89.7	28.5	91.3	34.7	102.0
最小値 (nGy/h)	17.1	69.0	17.6	70.0	18.4	71.5
積算値 (μGy)	13.89	54.49	14.48	55.40	14.57	54.52
積算降水増分(μGy)	0.30	0.52	0.11	0.20	0.55	0.99
降水増加率 (nGy/mm)	3.3	5.7	9.3	16.3	2.2	4.1
最多出現風向	SE		SE		SE	
平均風速 (m/s)	0.6		0.7		0.8	
降水量 (mm)	92.0		12.0		243.5	
平均土壤水分(%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-6 小屋取局 (2)

月	10		11		12	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	19.4	74.3	19.7	75.0	20.1	76.3
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.2	1.0	1.8	2.0	4.0
最頻値 (nGy/h)	18.9	73.7	19.7	74.5	19.4	74.7
最大値 (nGy/h)	29.5	94.0	28.7	91.5	33.1	103.2
最小値 (nGy/h)	18.1	70.7	18.2	71.7	18.5	72.0
積算値 (μ Gy)	14.42	55.26	14.19	54.02	14.67	55.68
積算降水増分 (μ Gy)	0.26	0.46	0.15	0.28	0.54	1.09
降水増加率 (nGy/mm)	1.6	2.7	3.3	6.3	3.6	7.3
最多出現風向	NW		SE		SE	
平均風速 (m/s)	0.8		0.9		1.2	
降水量 (mm)	166.5		44.5		149.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	1		2		3	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	19.4	75.0	19.4	74.8	(19.5)	(74.8)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.5	1.1	2.3	(1.2)	(2.5)
最頻値 (nGy/h)	19.3	74.5	19.2	73.8	(19.1)	(74.0)
最大値 (nGy/h)	28.3	92.5	29.0	94.7	(32.8)	(102.5)
最小値 (nGy/h)	18.2	71.8	18.1	70.8	(18.4)	(71.7)
積算値 (μ Gy)	14.40	55.81	13.06	50.23	(4.84)	(18.59)
積算降水増分 (μ Gy)	0.07	0.15	0.20	0.41	(0.05)	(0.11)
降水増加率 (nGy/mm)	6.4	12.8	3.0	6.1	(6.8)	(13.3)
最多出現風向	SE		SE		(SE)	
平均風速 (m/s)	1.1		0.9		(0.9)	
降水量 (mm)	11.5		67.0		(8.0)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-7 寄磯局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	13.4	67.7	13.3	67.6	13.2	67.3
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.7	1.2	2.5	1.1	2.1
最頻値 (nGy/h)	12.9	66.5	13.2	66.8	12.8	66.5
最大值 (nGy/h)	26.7	98.0	22.7	87.0	21.1	84.5
最小値 (nGy/h)	12.2	63.7	12.0	63.7	12.0	64.2
積算値 (μ Gy)	9.65	48.73	9.87	50.30	9.35	47.51
積算降水増分 (μ Gy)	0.35	0.81	0.26	0.51	0.23	0.44
降水増加率 (nGy/mm)	1.5	3.5	1.2	2.4	1.6	3.0
最多出現風向	NW		NNE		NNE	
平均風速 (m/s)	2.6		2.3		1.8	
降水量 (mm)	221.5		213.5		146.0	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	13.2	67.2	13.5	67.5	14.1	68.8
標準偏差 (nGy/h)	0.9	1.9	0.9	1.7	2.0	3.9
最頻値 (nGy/h)	12.8	66.8	13.4	67.5	13.3	67.3
最大值 (nGy/h)	21.8	85.0	23.1	86.3	27.8	95.2
最小値 (nGy/h)	12.0	63.5	12.1	63.5	12.4	64.7
積算値 (μ Gy)	9.83	49.98	10.01	50.22	10.13	49.42
積算降水増分 (μ Gy)	0.23	0.43	0.10	0.18	0.48	0.97
降水増加率 (nGy/mm)	3.8	7.3	5.3	9.5	1.8	3.7
最多出現風向	SW		SW		S	
平均風速 (m/s)	2.1		2.0		2.0	
降水量 (mm)	59.0		18.5		263.5	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-7 寄磯局 (2)

月	1 0		1 1		1 2	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.5	67.7	13.8	68.5	14.1	69.6
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.0	0.9	1.7	1.4	3.4
最頻値 (nGy/h)	13.3	67.3	13.8	68.3	13.6	68.8
最大値 (nGy/h)	19.2	79.3	22.7	86.2	24.6	94.5
最小値 (nGy/h)	12.3	64.0	12.5	65.3	12.7	65.3
積算値 (μGy)	10.08	50.40	9.97	49.30	10.33	50.96
積算降水増分 (μGy)	0.22	0.40	0.13	0.25	0.37	0.87
降水増加率 (nGy/mm)	1.4	2.6	2.6	5.1	2.7	6.4
最多出現風向	S		NW		NW	
平均風速 (m/s)	1.6		2.4		2.7	
降水量 (mm)	158.0		50.0		136.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	1		2		3	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.5	68.6	13.6	68.5	(13.6)	(68.5)
標準偏差 (nGy/h)	0.6	1.5	0.8	2.0	(0.8)	(2.0)
最頻値 (nGy/h)	13.3	68.7	13.3	68.0	(13.4)	(67.8)
最大値 (nGy/h)	20.6	84.3	19.1	81.8	(22.1)	(91.3)
最小値 (nGy/h)	12.5	65.5	12.4	64.8	(12.5)	(65.5)
積算値 (μGy)	10.01	51.07	9.13	46.02	(3.43)	(17.27)
積算降水増分 (μGy)	0.06	0.14	0.16	0.36	(0.03)	(0.07)
降水増加率 (nGy/mm)	4.7	11.9	2.5	5.6	(3.8)	(9.1)
最多出現風向	NW		NW		(WNW)	
平均風速 (m/s)	2.7		2.4		(2.7)	
降水量 (mm)	12.0		65.5		(8.0)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-8 鮫浦局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	16.3	70.3	16.1	70.3	16.1	70.5
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.8	1.4	3.2	0.9	2.0
最頻値 (nGy/h)	15.8	69.0	15.2	69.7	15.7	69.7
最大值 (nGy/h)	29.4	101.0	26.0	92.8	21.9	83.3
最小値 (nGy/h)	14.5	65.0	14.7	66.2	14.8	66.7
積算値 (μGy)	11.71	50.61	11.96	52.29	11.41	50.00
積算降水増分 (μGy)	0.38	0.86	0.31	0.67	0.22	0.44
降水増加率 (nGy/mm)	1.4	3.1	1.2	2.6	1.7	3.4
最多出現風向	N		N		SSE	
平均風速 (m/s)	1.9		1.7		1.3	
降水量 (mm)	268.5		256.0		127.5	
平均土壤水分 (%)	81.8 ± 2.6		79.0 ± 2.8		73.8 ± 3.9	
平均気温 (°C)	7.3		13.3		19.0	
最多出現大気安定度	D		D		D	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	16.1	71.0	16.5	72.0	17.0	72.3
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.1	0.9	1.9	1.7	3.7
最頻値 (nGy/h)	15.7	70.2	16.6	71.8	16.1	71.7
最大值 (nGy/h)	23.9	88.5	24.5	88.0	28.1	95.0
最小値 (nGy/h)	14.8	67.2	14.9	67.8	15.3	67.3
積算値 (μGy)	12.01	52.81	12.30	53.57	12.04	51.40
積算降水増分 (μGy)	0.26	0.51	0.10	0.19	0.38	0.87
降水増加率 (nGy/mm)	2.3	4.5	4.7	9.4	1.5	3.3
最多出現風向	SSE		SSE		N	
平均風速 (m/s)	1.4		1.4		1.4	
降水量 (mm)	112.5		20.5		267.0	
平均土壤水分 (%)	75.8 ± 3.1		72.9 ± 3.0		74.0 ± 8.1	
平均気温 (°C)	24.0		25.5		20.9	
最多出現大気安定度	D		D		D	

平成22年度

表-4-1-8 鮫浦局 (2)

月 項目	10		11		12	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	16.4	70.4	16.6	71.1	16.9	72.7
標準偏差 (nGy/h)	0.9	1.9	0.8	1.8	1.6	3.7
最頻値 (nGy/h)	16.1	69.8	16.5	70.7	16.5	71.3
最大値 (nGy/h)	21.3	81.2	25.9	91.0	27.5	96.8
最小値 (nGy/h)	15.1	66.5	15.4	68.2	15.6	68.3
積算値 (μGy)	12.19	52.41	11.76	50.39	12.61	54.06
積算降水増分 (μGy)	0.19	0.41	0.12	0.27	0.42	0.98
降水増加率 (nGy/mm)	1.1	2.3	2.2	4.9	2.6	6.0
最多出現風向	N		N		N	
平均風速 (m/s)	1.1		1.5		1.9	
降水量 (mm)	175.5		54.5		163.0	
平均土壤水分 (%)	77.3 ± 3.5		75.7 ± 3.8		78.4 ± 3.4	
平均気温 (°C)	15.7		9.7		5.9	
最多出現大気安定度	D		G		D	

月 項目	1		2		3	
	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	16.3	71.7	16.5	71.5	(16.5)	(71.8)
標準偏差 (nGy/h)	0.6	1.4	1.1	2.5	(1.0)	(2.4)
最頻値 (nGy/h)	16.2	71.3	16.2	70.8	(16.3)	(71.7)
最大値 (nGy/h)	24.7	89.2	27.5	95.5	(26.2)	(98.5)
最小値 (nGy/h)	15.3	68.7	15.2	67.8	(15.4)	(68.7)
積算値 (μGy)	12.16	53.37	11.04	47.91	(4.20)	(18.29)
積算降水増分 (μGy)	0.06	0.15	0.19	0.44	(0.05)	(0.11)
降水増加率 (nGy/mm)	4.9	13.0	2.2	5.0	(4.1)	(10.0)
最多出現風向	N		N		(NNW)	
平均風速 (m/s)	1.8		1.7		(1.6)	
降水量 (mm)	11.5		87.5		(11.0)	
平均土壤水分 (%)	76.5 ± 2.7		79.8 ± 3.3		(80.5) ± (1.7)	
平均気温 (°C)	0.3		2.9		(1.5)	
最多出現大気安定度	G		G		(G)	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-9 谷川局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.3	70.7	12.8	69.5	12.7	69.0
標準偏差 (nGy/h)	1.1	2.9	1.3	3.3	0.9	2.1
最頻値 (nGy/h)	12.7	69.3	11.9	69.2	12.3	68.3
最大値 (nGy/h)	23.5	95.2	22.4	94.2	19.1	84.7
最小値 (nGy/h)	11.5	65.8	11.3	64.5	11.4	65.0
積算値 (μGy)	9.57	50.89	9.53	51.70	8.96	48.67
*1 積算降水増分 (μGy)	0.35	0.93	0.28	0.64	0.22	0.48
*1 降水増加率 (nGy/mm)	1.3	3.4	1.1	2.5	1.8	3.9
最多出現風向	NE		NE		NE	
平均風速 (m/s)	3.0		2.8		2.1	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	12.8	69.2	12.9	69.2	13.7	71.4
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.4	0.9	2.0	1.6	3.8
最頻値 (nGy/h)	12.5	68.7	13.1	69.0	12.9	70.0
最大値 (nGy/h)	21.9	89.5	20.9	88.2	23.8	96.2
最小値 (nGy/h)	11.4	64.3	11.4	64.5	12.2	66.2
積算値 (μGy)	9.54	51.45	9.62	51.49	9.86	51.26
積算降水増分 (μGy)	0.27	0.55	0.08	0.19	0.36	0.94
降水増加率 (nGy/mm)	2.4	4.9	4.1	9.2	1.4	3.5
最多出現風向	SW		SW		NE	
平均風速 (m/s)	2.1		2.3		2.8	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 積算降水増分及び降水増加率は鮫浦局の降水データを使用した。

表-4-1-9 谷川局 (2)

月	1 0		1 1		1 2	
項 目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.3	70.3	13.5	70.9	13.9	72.2
標準偏差 (nGy/h)	0.9	2.1	0.7	1.9	1.5	4.1
最頻値 (nGy/h)	12.9	69.8	13.4	70.3	13.2	71.2
最大値 (nGy/h)	17.8	82.0	21.9	91.5	24.7	98.7
最小値 (nGy/h)	11.9	66.0	12.2	66.5	12.4	67.0
積算値 (μGy)	9.90	52.30	9.74	51.02	10.12	52.69
積算降水増分(μGy)	0.18	0.44	0.10	0.27	0.39	1.05
降水増加率 (nGy/mm)	1.0	2.5	1.8	5.0	2.4	6.5
最多出現風向	SW		SW		SW	
平均風速 (m/s)	2.0		2.3		2.6	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壤水分(%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	1		2		3	
項 目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.3	71.2	13.4	71.2	(13.5)	(71.6)
標準偏差 (nGy/h)	0.6	1.7	1.0	2.6	(0.9)	(2.5)
最頻値 (nGy/h)	13.0	70.8	13.1	70.5	(13.2)	(71.2)
最大値 (nGy/h)	21.5	94.2	22.0	92.0	(22.1)	(97.3)
最小値 (nGy/h)	12.2	67.2	12.3	67.0	(12.5)	(68.0)
積算値 (μGy)	9.87	52.95	8.85	47.83	(3.41)	(18.09)
積算降水増分(μGy)	0.06	0.16	0.17	0.45	(0.04)	(0.11)
降水増加率 (nGy/mm)	5.0	14.2	1.9	5.1	(4.2)	(11.7)
最多出現風向	SW		SW		(SW)	
平均風速 (m/s)	2.8		2.7		(2.4)	
降水量 (mm)	/		/		/	
平均土壤水分(%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*2 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*3 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-10 小積局 (1)

月	4		5		6	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	17.8	75.9	17.7	75.9	17.8	76.2
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.5	1.2	2.9	1.0	2.1
最頻値 (nGy/h)	17.4	75.0	17.2	74.8	17.5	75.8
最大值 (nGy/h)	27.2	99.3	25.8	97.7	24.6	89.0
最小値 (nGy/h)	16.2	72.2	16.2	72.2	16.3	72.8
積算値 (μGy)	12.82	54.64	13.19	56.44	12.61	53.91
積算降水増分 (μGy)	0.27	0.72	0.26	0.66	0.19	0.44
降水増加率 (nGy/mm)	1.3	3.4	1.2	3.0	1.5	3.6
最多出現風向	ENE		ENE		ENE	
平均風速 (m/s)	2.0		1.9		1.5	
降水量 (mm)	214.0		218.5		122.0	
平均土壤水分 (%)						
平均気温 (°C)	6.9		12.8		18.8	
最多出現大気安定度	D		D		D	

月	7		8		9	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均值 (nGy/h)	17.9	76.2	18.4	76.9	18.6	77.4
標準偏差 (nGy/h)	1.1	2.3	1.2	2.1	1.4	3.4
最頻値 (nGy/h)	17.4	75.5	18.1	76.3	18.0	76.3
最大值 (nGy/h)	29.3	104.7	28.3	96.8	27.6	100.5
最小値 (nGy/h)	16.2	72.2	16.4	72.7	16.9	72.7
積算値 (μGy)	13.29	56.68	13.67	57.22	13.34	55.54
積算降水増分 (μGy)	0.22	0.52	0.09	0.20	0.28	0.78
降水増加率 (nGy/mm)	1.9	4.4	5.1	11.6	1.3	3.5
最多出現風向	SW		SW		ENE	
平均風速 (m/s)	1.5		1.5		1.6	
降水量 (mm)	119.5		17.0		223.0	
平均土壤水分 (%)						
平均気温 (°C)	23.9		25.2		20.8	
最多出現大気安定度	D		D		D	

平成22年度

表-4-1-10 小積局 (2)

月	10		11		12	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	18.0	76.0	18.3	76.7	18.5	78.1
標準偏差 (nGy/h)	0.9	2.0	0.7	1.7	1.4	3.6
最頻値 (nGy/h)	17.8	75.3	18.5	76.5	17.8	77.0
最大値 (nGy/h)	23.5	87.8	25.7	94.5	29.5	104.5
最小値 (nGy/h)	16.3	72.3	16.8	73.5	17.0	73.7
積算値 (μGy)	13.41	56.57	12.99	54.39	13.80	58.11
積算降水増分 (μGy)	0.18	0.45	0.12	0.28	0.40	1.00
降水増加率 (nGy/mm)	1.2	2.9	2.4	5.9	2.7	6.9
最多出現風向	NE		SW		SW	
平均風速 (m/s)	1.3		1.9		2.1	
降水量 (mm)	154.0		47.5		145.0	
平均土壌水分 (%)						
平均気温 (℃)	15.4		9.2		5.4	
最多出現大気安定度	D		G		D	

月	1		2		3	
項目	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱	NaI(Tl)	電離箱
平均値 (nGy/h)	17.9	76.9	18.1	76.8	(18.0)	(76.8)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.5	1.0	2.5	(0.9)	(2.3)
最頻値 (nGy/h)	17.7	76.8	17.6	76.5	(17.8)	(76.7)
最大値 (nGy/h)	25.9	96.3	29.2	104.2	(26.4)	(101.7)
最小値 (nGy/h)	16.6	73.7	16.7	72.8	(16.7)	(73.3)
積算値 (μGy)	13.33	57.18	12.12	51.38	(4.58)	(19.55)
積算降水増分 (μGy)	0.05	0.13	0.14	0.40	(0.04)	(0.10)
降水増加率 (nGy/mm)	5.9	16.4	2.0	5.4	(3.8)	(10.0)
最多出現風向	SW		SW		(SW)	
平均風速 (m/s)	2.3		1.9		(2.1)	
降水量 (mm)	8.0		76.5		(10.0)	
平均土壌水分 (%)						
平均気温 (℃)	0.0		2.2		(1.3)	
最多出現大気安定度	G		G		(G)	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-11 塚浜局 (1)

月	4		5		6	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	15.2	72.9	15.0	73.1	15.1	72.7
標準偏差 (nGy/h)	1.4	3.0	1.7	3.4	1.2	2.2
最頻値 (nGy/h)	14.6	71.5	14.7	72.3	14.4	72.1
最大値 (nGy/h)	30.0	104.0	26.3	93.5	24.1	90.7
最小値 (nGy/h)	13.8	68.7	13.6	69.4	13.8	69.7
積算値 (μGy)	10.94	52.49	11.18	54.37	10.84	52.24
*1 積算降水増分 (μGy)	0.40	0.81	0.41	0.77	0.26	0.45
*1 降水増加率 (nGy/mm)	1.6	3.2	1.6	3.0	1.9	3.4
最多出現風向	NW		NW		S	
平均風速 (m/s)	0.8		0.6		0.3	
降水量 (mm)	262.0		262.0		137.5	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 積算降水増分及び降水増加率は小屋取局の降水データを使用した。

月	7		8		9	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	15.2	72.7	15.7	73.3	16.3	74.6
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.2	1.0	1.8	2.2	4.1
最頻値 (nGy/h)	14.6	72.0	15.8	73.1	15.2	73.2
最大値 (nGy/h)	23.9	89.0	25.4	90.7	31.0	101.9
最小値 (nGy/h)	13.9	68.8	14.2	70.0	14.5	70.1
積算値 (μGy)	11.29	54.06	11.69	54.55	11.71	53.62
積算降水増分 (μGy)	0.32	0.53	0.12	0.20	0.54	0.95
降水増加率 (nGy/mm)	3.5	5.8	10.2	16.7	2.2	3.9
最多出現風向	S		S		NNW	
平均風速 (m/s)	0.4		0.4		0.4	
降水量 (mm)	94.0		51.0		247.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-11 塚浜局 (2)

月 項 目	10		11		12	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	15.4	73.0	15.7	73.8	16.2	75.3
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.2	0.9	1.8	1.8	4.0
最頻値 (nGy/h)	14.9	72.4	15.4	73.2	15.3	73.9
最大値 (nGy/h)	23.7	89.2	23.7	89.8	28.5	101.8
最小値 (nGy/h)	14.1	69.3	14.4	70.2	14.7	70.6
積算値 (μ Gy)	11.15	52.75	11.28	53.14	12.02	55.91
積算降水増分 (μ Gy)	0.26	0.50	0.13	0.26	0.46	0.96
降水増加率 (nGy/mm)	1.6	3.0	3.0	5.9	3.1	6.5
最多出現風向	NNW		NW		NW	
平均風速 (m/s)	0.3		0.7		1.0	
降水量 (mm)	170.5		55.5		158.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月 項 目	1		2		3	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	15.5	74.0	15.6	73.6	(15.6)	(74.1)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.5	1.0	2.3	(1.1)	(2.4)
最頻値 (nGy/h)	15.3	73.7	15.4	73.1	(15.2)	(73.5)
最大値 (nGy/h)	25.0	91.2	23.7	91.1	(27.1)	(98.6)
最小値 (nGy/h)	14.5	71.2	14.5	70.5	(14.6)	(71.2)
積算値 (μ Gy)	11.54	55.05	10.48	49.48	(3.96)	(18.87)
積算降水増分 (μ Gy)	0.08	0.16	0.17	0.39	(0.06)	(0.11)
降水増加率 (nGy/mm)	6.6	13.8	2.6	5.9	(7.0)	(14.1)
最多出現風向	NW		NW		(NW)	
平均風速 (m/s)	1.1		0.9		(0.9)	
降水量 (mm)	15.0		67.5		(8.5)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*2 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*3 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-12 寺間局 (1)

月	4		5		6	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.6	66.8	13.5	66.8	13.3	66.4
標準偏差 (nGy/h)	1.2	2.7	1.2	2.8	0.9	1.9
最頻値 (nGy/h)	13.1	65.7	13.4	66.2	12.7	66.0
最大値 (nGy/h)	27.7	99.9	21.2	84.7	20.3	81.8
最小値 (nGy/h)	12.3	63.3	12.2	63.6	12.2	63.0
積算値 (μ Gy)	9.75	48.10	10.04	49.72	9.58	47.70
積算降水増分 (μ Gy)	0.31	0.70	0.29	0.61	0.12	0.26
降水増加率 (nGy/mm)	1.1	2.6	1.2	2.5	0.9	1.8
最多出現風向	NNE		NNE		SSW	
平均風速 (m/s)	1.4		1.2		0.9	
降水量 (mm)	271.0		247.5		139.5	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	7		8		9	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.3	66.3	13.8	66.7	14.2	67.9
標準偏差 (nGy/h)	0.8	1.8	0.8	1.6	1.6	3.6
最頻値 (nGy/h)	12.9	65.7	13.8	66.6	13.4	67.0
最大値 (nGy/h)	19.4	81.1	21.6	83.0	25.6	92.5
最小値 (nGy/h)	12.2	63.0	12.4	63.3	12.6	63.9
積算値 (μ Gy)	9.92	49.35	10.25	49.61	10.22	48.81
積算降水増分 (μ Gy)	0.20	0.46	0.08	0.17	0.40	0.88
降水増加率 (nGy/mm)	2.6	5.8	4.9	10.8	1.5	3.3
最多出現風向	SSW		SSW		NNE	
平均風速 (m/s)	1.1		1.3		1.1	
降水量 (mm)	78.5		15.5		269.0	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-12 寺間局 (2)

月 項 目	10		11		12	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.5	66.7	13.8	67.5	14.1	68.9
標準偏差 (nGy/h)	0.9	2.1	0.8	1.9	1.4	3.4
最頻値 (nGy/h)	13.2	66.0	13.7	67.3	13.5	67.4
最大値 (nGy/h)	21.5	83.3	22.7	88.3	25.7	95.2
最小値 (nGy/h)	12.5	63.3	12.6	64.0	12.8	64.5
積算値 (μ Gy)	9.85	48.53	9.94	48.62	10.50	51.23
積算降水増分 (μ Gy)	0.19	0.45	0.12	0.27	0.34	0.85
降水増加率 (nGy/mm)	1.1	2.7	2.2	5.1	2.2	5.3
最多出現風向	N		N		NNW	
平均風速 (m/s)	1.0		1.5		1.8	
降水量 (mm)	168.0		54.0		158.5	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月 項 目	1		2		3	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	13.5	67.8	13.7	67.6	(13.6)	(68.0)
標準偏差 (nGy/h)	0.5	1.3	0.9	2.2	(0.8)	(2.1)
最頻値 (nGy/h)	13.5	67.6	13.3	67.0	(13.4)	(67.7)
最大値 (nGy/h)	18.1	78.5	22.0	87.2	(22.4)	(89.3)
最小値 (nGy/h)	12.6	65.2	12.6	64.4	(12.7)	(65.0)
積算値 (μ Gy)	10.08	50.46	9.18	45.41	(3.47)	(17.30)
積算降水増分 (μ Gy)	0.06	0.14	0.17	0.38	(0.04)	(0.11)
降水増加率 (nGy/mm)	7.9	20.5	2.4	5.6	(14.9)	(35.5)
最多出現風向	N		N		(NNW)	
平均風速 (m/s)	1.5		1.4		(1.2)	
降水量 (mm)	7.0		68.0		(3.0)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-13 江島局 (1)

月	4		5		6	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.4	62.4	11.3	62.4	11.1	61.8
標準偏差 (nGy/h)	1.0	2.3	1.1	2.5	0.8	1.7
最頻値 (nGy/h)	11.1	61.3	10.6	61.7	10.7	61.5
最大値 (nGy/h)	21.5	84.0	19.3	80.1	16.8	74.1
最小値 (nGy/h)	10.3	58.9	10.0	59.2	10.0	58.9
積算値 (μ Gy)	8.18	44.89	8.38	46.39	8.01	44.45
積算降水増分 (μ Gy)	0.26	0.64	0.24	0.56	0.17	0.33
降水増加率 (nGy/mm)	1.5	3.7	1.1	2.7	1.6	3.2
最多出現風向	W		WNW		NNW	
平均風速 (m/s)	3.4		2.8		1.9	
降水量 (mm)	173.0		210.5		106.0	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	7		8		9	
項目	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.1	61.7	11.2	61.7	11.8	63.0
標準偏差 (nGy/h)	0.9	1.9	0.7	1.5	1.6	3.5
最頻値 (nGy/h)	10.9	61.2	11.3	61.1	11.2	61.8
最大値 (nGy/h)	19.1	79.6	20.9	81.6	22.5	85.8
最小値 (nGy/h)	10.1	58.6	9.9	58.7	10.4	59.4
積算値 (μ Gy)	8.24	45.92	8.36	45.88	8.52	45.29
積算降水増分 (μ Gy)	0.17	0.36	0.09	0.17	0.34	0.76
降水増加率 (nGy/mm)	2.0	4.2	4.5	9.0	1.3	2.9
最多出現風向	SSE		S		NNE	
平均風速 (m/s)	2.1		2.0		2.8	
降水量 (mm)	86.5		19.0		259.5	
平均土壤水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-13 江島局 (2)

月 項 目	10		11		12	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.3	62.0	11.7	62.8	12.0	64.2
標準偏差 (nGy/h)	0.9	2.0	1.0	2.2	1.4	3.4
最頻値 (nGy/h)	10.9	61.3	11.6	62.4	11.5	62.9
最大値 (nGy/h)	21.0	81.3	27.2	95.6	25.8	94.0
最小値 (nGy/h)	10.1	59.0	10.5	59.8	10.8	59.9
積算値 (μ Gy)	8.26	45.17	8.40	45.22	8.94	47.71
積算降水増分 (μ Gy)	0.19	0.44	0.07	0.18	0.35	0.87
降水増加率 (nGy/mm)	1.0	2.3	1.8	4.8	2.4	5.9
最多出現風向	WNW		W		W	
平均風速 (m/s)	2.8		4.7		5.7	
降水量 (mm)	187.0		38.5		146.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月 項 目	1		2		3	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	11.5	63.3	11.6	63.1	(11.5)	(63.4)
標準偏差 (nGy/h)	0.6	1.3	1.0	2.4	(0.7)	(1.8)
最頻値 (nGy/h)	11.5	63.1	11.2	62.2	(11.3)	(63.3)
最大値 (nGy/h)	16.8	76.1	20.7	86.2	(18.7)	(81.5)
最小値 (nGy/h)	10.4	60.5	10.6	59.9	(10.7)	(60.9)
積算値 (μ Gy)	8.52	47.06	7.78	42.38	(2.94)	(16.15)
積算降水増分 (μ Gy)	0.07	0.17	0.20	0.49	(0.04)	(0.09)
降水増加率 (nGy/mm)	15.2	37.0	4.2	10.3	(16.3)	(36.8)
最多出現風向	W		WNW		(WNW)	
平均風速 (m/s)	6.4		4.5		(5.3)	
降水量 (mm)	4.5		48.0		(2.5)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*2 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

表-4-1-14 前網局 (1)

月	4		5		6	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	21.0	77.5	20.8	77.3	20.6	76.8
標準偏差 (nGy/h)	1.3	2.7	1.3	2.6	0.9	1.8
最頻値 (nGy/h)	20.6	76.9	20.7	76.9	20.1	76.2
最大値 (nGy/h)	37.6	110.1	29.5	94.3	27.0	90.8
最小値 (nGy/h)	19.4	73.3	19.3	73.8	19.3	74.1
積算値 (μ Gy)	15.14	55.79	15.44	57.51	14.78	55.21
*1 積算降水増分 (μ Gy)	0.35	0.70	0.29	0.61	0.15	0.29
*1 降水増加率 (nGy/mm)	1.6	3.2	1.4	2.9	1.1	2.0
最多出現風向	SW		SW		SW	
平均風速 (m/s)	1.4		1.4		1.0	
降水量 (mm)	232.5		220.5		146.5	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*1積算降水増分及び降水増加率は寄磯局の降水データを使用した。

月	7		8		9	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	20.4	76.8	21.0	77.6	21.7	78.6
標準偏差 (nGy/h)	0.9	1.8	0.8	1.5	1.6	3.3
最頻値 (nGy/h)	20.1	76.3	21.1	77.5	20.8	77.3
最大値 (nGy/h)	28.5	92.0	28.1	91.0	32.8	100.3
最小値 (nGy/h)	19.2	73.0	19.4	73.6	20.1	74.7
積算値 (μ Gy)	15.15	57.11	15.65	57.70	15.60	56.53
積算降水増分 (μ Gy)	0.22	0.43	0.07	0.14	0.39	0.75
降水増加率 (nGy/mm)	3.7	7.3	3.9	7.5	1.5	2.8
最多出現風向	SW		SW		SW	
平均風速 (m/s)	1.2		1.4		1.4	
降水量 (mm)	62.5		24.5		267.0	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

平成22年度

表-4-1-14 前網局 (2)

月	10		11		12	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	21.1	77.2	21.5	78.0	21.8	79.3
標準偏差 (nGy/h)	0.9	1.8	0.8	1.6	1.6	3.4
最頻値 (nGy/h)	20.8	76.7	21.4	77.9	21.2	78.2
最大値 (nGy/h)	26.0	88.4	29.4	93.4	32.5	101.8
最小値 (nGy/h)	19.7	74.4	19.9	74.6	20.3	75.3
積算値 (μ Gy)	15.37	56.39	15.45	56.19	16.12	58.73
積算降水増分 (μ Gy)	0.16	0.30	0.12	0.22	0.37	0.78
降水増加率 (nGy/mm)	1.0	1.9	2.3	4.5	2.7	5.8
最多出現風向	SW		SW		SW	
平均風速 (m/s)	0.9		1.2		1.2	
降水量 (mm)	164.0		60.0		141.5	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

月	1		2		3	
	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱	Na I (T1)	電離箱
平均値 (nGy/h)	21.3	78.4	21.4	78.2	(21.3)	(78.6)
標準偏差 (nGy/h)	0.7	1.3	0.9	2.0	(0.9)	(2.0)
最頻値 (nGy/h)	21.2	78.0	21.4	77.3	(21.0)	(78.2)
最大値 (nGy/h)	29.2	93.5	28.1	92.3	(31.1)	(99.2)
最小値 (nGy/h)	20.1	75.5	20.3	75.1	(20.1)	(75.8)
積算値 (μ Gy)	15.81	58.30	14.38	52.55	(5.42)	(19.99)
積算降水増分 (μ Gy)	0.07	0.14	0.17	0.35	(0.04)	(0.09)
降水増加率 (nGy/mm)	4.5	9.1	2.7	5.6	(5.6)	(11.8)
最多出現風向	SW		SW		(SW)	
平均風速 (m/s)	0.9		1.3		(1.1)	
降水量 (mm)	23.5		73.0		(20.5)	
平均土壌水分 (%)	/		/		/	
平均気温 (°C)	/		/		/	
最多出現大気安定度	/		/		/	

*2 () は、データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

*3 3月の欠側は、東日本大震災の影響によるもの。

平成22年度

(2) 海水(放水)中の全ガンマ線計数率測定結果

表-4-2-1 海水(放水)中の全ガンマ線計数率測定結果

月	4			5			6		
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
平均値(cpm)	--*1	416	482	--*1	416	480	589	418	471
標準偏差(cpm)		8	9		8	10	12	7	8
最頻値(cpm)		415	479		416	481	585	414	469
最大値(cpm)		449	514		446	523	632	442	507
最小値(cpm)		384	452		390	443	556	395	443

月	7			8			9		
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
平均値(cpm)	606	417	466	605	416	470	605	417	470
標準偏差(cpm)	8	7	8	9	7	9	9	8	9
最頻値(cpm)	606	416	463	605	420	469	607	416	468
最大値(cpm)	635	441	499	634	439	506	663	467	505
最小値(cpm)	579	393	440	574	386	437	568	390	443

月	10			11			12		
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
平均値(cpm)	606	416	473	611	418	473	613	420	482
標準偏差(cpm)	9	7	8	9	7	8	10	8	12
最頻値(cpm)	607	416	474	613	417	471	611	420	479
最大値(cpm)	646	444	517	667	450	502	667	454	565
最小値(cpm)	577	390	445	579	391	448	582	393	453

月	1			2			3		
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
平均値(cpm)	614	420	489	614	419	484	(617)	(420)	(487)
標準偏差(cpm)	9	7	9	10	8	10	(11)	(8)	(8)
最頻値(cpm)	611	420	491	614	417	481	(616)	(421)	(486)
最大値(cpm)	658	444	524	688	477	533	(718)	(463)	(523)
最小値(cpm)	585	398	457	583	393	446	(588)	(397)	(461)

*1 1号機放水口モニターの4月1日～6月3日の測定値については、下記の理由から、参考値扱いとし、統計値からは除外した。

- ・4月1日～5月19日：循環水ポンプ全台停止（停止期間：3月26日～5月19日）により、天然放射性核種が多く含まれている地下水影響による変動がみられたため。
- ・5月17日～6月3日：測定条件が異なるため。（地下水影響による変動の原因調査のため、採水位置を変更したもの。）

*2 () は、有効データ数が当該月の半数に満たないことから、参考値として記載。

(3) 空間ガンマ線積算線量測定結果
表-4-3 積算線測定結果

調査機関	地点番号	測定地点名	平成22年度測定値					年間積算値	S57~H21年度年間積算値 最小値~最大値 (参考)
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間積算値		
宮城 県	MP-1	出島	0.13	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.53) ^{*10}	0.51 ~ 0.63	
	MP-2	尾浦	0.12	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.51) ^{*10}	0.48 ~ 0.55 ^{*1}	
	MP-3	桐ヶ崎	0.12	0.12	0.12	— ^{*7}	(0.49) ^{*10}	0.46 ~ 0.53	
	MP-4	高白	0.12	0.12	0.12	— ^{*7}	(0.49) ^{*10}	0.46 ~ 0.52	
	MP-5	大石原	0.13	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.53) ^{*10}	0.53 ~ 0.59	
	MP-6	野々浜	0.12	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.51) ^{*10}	0.53 ~ 0.64	
	MP-7	大谷川	0.13	0.12	0.12	— ^{*7}	(0.50) ^{*10}	0.50 ~ 0.56 ^{*2}	
	MP-8	祝浜	0.13	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.53) ^{*10}	0.54 ~ 0.64	
	MP-9	泊浜	0.15	0.16	0.16	— ^{*8}	(0.64) ^{*10}	0.63 ~ 0.78	
	MP-10	桃浦	0.11	0.11	0.11	— ^{*7}	(0.45) ^{*10}	0.43 ~ 0.49 ^{*2}	
	MP-11	小網倉	0.13	0.12	0.13	— ^{*7}	(0.51) ^{*10}	0.49 ~ 0.63	
	MP-12	大原浜	0.12	0.12	0.12	— ^{*8}	(0.49) ^{*10}	0.49 ~ 0.55	
	MP-13	女川MS	0.12	0.12	0.12	— ^{*8}	(0.49) ^{*10}	0.46 ~ 0.50	
	MP-14	飯子浜MS	0.16	0.15	0.15	— ^{*8}	(0.62) ^{*10}	0.59 ~ 0.65	
	MP-15	小屋取MS	0.14	0.14	0.14	— ^{*8}	(0.57) ^{*10}	0.57 ~ 0.63	
	MP-16	寄磯MS	0.14	0.13	0.14	— ^{*8}	(0.55) ^{*10}	0.55 ~ 0.62	
	MP-17	鮫浦MS	0.15	0.15	0.15	— ^{*7}	(0.61) ^{*10}	0.57 ~ 0.64	
	MP-18	谷川MS	0.13	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.53) ^{*10}	0.54 ~ 0.61	
	MP-19	小積MS	0.16	0.15	0.16	— ^{*7}	(0.64) ^{*10}	0.62 ~ 0.67 ^{*10}	
東北 電力	MP-20	小屋取	0.14	0.14	0.15	0.38 ^{*9}	0.82 ^{*10}	0.60 ~ 0.67	
	MP-21	飯子浜	0.14	0.14	0.15	— ^{*7}	(0.58) ^{*10}	0.60 ~ 0.70	
	MP-22	横浦	0.12	0.12	0.12	— ^{*7}	(0.49) ^{*10}	0.50 ~ 0.55 ^{*4}	
	MP-23	女川	0.12	0.12	0.13	0.21 ^{*9}	0.59	0.50 ~ 0.56	
	MP-24	竹浦	0.12	0.12	0.13	— ^{*7}	(0.50) ^{*10}	0.50 ~ 0.58 ^{*5}	
	MP-25	寄磯	0.15	0.14	0.16	— ^{*7}	(0.61) ^{*10}	0.57 ~ 0.66	
	MP-26	鮫浦	0.13	0.13	0.13	— ^{*7}	(0.53) ^{*10}	0.54 ~ 0.65	
	MP-27	谷川	0.13	0.13	0.14	— ^{*7}	(0.54) ^{*10}	0.53 ~ 0.65 ^{*6}	
	MP-28	荻浜	0.14	0.14	0.15	0.31 ^{*9}	0.75	0.58 ~ 0.65	
	MP-29	塚浜MS	0.15	0.15	0.16	0.41 ^{*9}	0.88	0.64 ~ 0.71	
	MP-30	寺間MS	0.14	0.14	0.15	0.37 ^{*9}	0.81	0.60 ~ 0.69	
	MP-31	江島MS	0.12	0.12	0.13	0.34 ^{*9}	0.72	0.52 ~ 0.58	
	MP-32	前網MS	0.17	0.17	0.19	0.58 ^{*9}	1.13	0.75 ~ 0.85	
測定値の単位			mGy / 90日				mGy / 365日		

- *1 尾浦：平成14年3月11日に測定地点を移動したが、旧地点のデータを含む。
- *2 大谷川及び桃浦：昭和57年度までに測定地点を移動したため、昭和58年度からの測定値の範囲を示した。
- *3 小積MS：平成13年度から測定を開始した。
- *4 横浦：は昭和63年9月29日に測定地点移動のため昭和63年度第3四半期からのデータである。
- *5 竹浦：平成16年11月30日に測定地点を移動したが、旧地点における測定値を含む。
- *6 谷川：平成9年3月27日に測定地点を移動したが、旧地点における測定値を含む。
- *7 東日本大震災の影響により、設備が消失したため欠測。
- *8 東日本大震災の影響により、測定機器等が流失したため欠測。
- *9 第4四半期の積算線量が高くなっているが、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響によるもの。
- *10 有効四半期(第1~3四半期)の値より計算し、参考値として記載。

平成22年度

(4) 移動観測車による空間ガンマ線線量率測定結果
表-4-4-1 宮城県調査分

単位：nGy/h

地点名	測定時期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 ^{*3}	S60～H21年度測定値 最小値～最大値 (参考) ^{*1}
	測定年月日	H22.6.7	H22.9.6	H22.12.10	-	
	天候	晴れ	晴れ	晴れ後曇り	-	
1	原子力センター	35.8	36.9	37.7	-	33.9～42.6
2	コバルトライン入口	30.6	32.1	31.4	-	25.2～35.7
3	コバルトライン料金所跡	30.4	33.4	31.2	-	24.3～35.7 ^{*2}
4	大六天駐車場	28.3	30.0	29.1	-	22.1～34.8
5	コバルトライン横浦西	35.6	39.2	37.8	-	27.5～38.4
6	コバルトライン大石原西	37.4	41.0	38.4	-	31.8～49.7
7	コバルトライン野々浜西	47.0	50.1	48.3	-	42.9～61.8
8	コバルトライン小積インター	42.8	47.9	45.5	-	38.3～55.8
9	コバルトライン小積展望所	33.2	34.3	33.1	-	27.0～38.2
10	コバルトライン大谷川林道	34.3	36.8	35.0	-	27.0～35.6
11	コバルトライン大原インター	37.8	42.3	40.1	-	28.7～46.8
12	水産技術総合センター 養殖生産部構内	32.0	34.4	33.2	-	27.0～39.4
13	大谷川ポンプ小屋付近	32.7	33.9	32.9	-	27.0～39.8
14	宮城県漁業協同組合 鮫浦支所前	26.8	29.0	26.5	-	24.7～37.4
15	付替県道牡鹿側交差点	33.0	35.5	33.4	-	28.6～44.4
16	発電所牡鹿ゲート	30.7	33.3	31.7	-	24.4～42.6
17	寄磯小中学校入口	40.8	42.8	41.8	-	33.9～44.8
18	東北電力PRセンター前	30.4	32.0	31.3	-	24.7～35.7
19	小屋取駐車場	28.7	30.7	30.8	-	24.6～35.7
20	なつはまペンション前	28.9	31.3	28.8	-	23.5～33.1
21	飯子浜バス停前	25.5	27.1	26.1	-	20.0～31.5
22	野々浜六小・四中前	34.0	36.9	34.9	-	27.0～43.1
23	横浦入口	28.4	30.7	28.6	-	26.1～37.3
24	高白	26.1	28.7	27.2	-	23.5～33.2

*1 測定地点を固定した昭和60年度からの測定値の範囲を参考として示した。

*2 平成17年度第3四半期に測定地点を移動したが、旧地点のデータを含む。

*3 東日本大震災の影響により測定結果が流失したため欠測。

平成22年度

表-4-4-2 東北電力調査分

単位：nGy/h

地点名	測定時期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	S60～H21年度測定値 最小値～最大値 (参考)*1
	測定年月日	H22.5.18	H22.8.10	H22.11.17	H23.2.23	
	天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	
1	野々浜県道交差点	37.7	37.8	38.1	36.7	33.1～47.9
2	大石原入口	44.0	45.3	47.7	43.5	42.9～54.8
3	横浦入口	31.3	31.3	32.2	30.6	26.1～35.7
4	高白入口	35.7	36.1	37.1	35.2	28.7～38.3
5	桐ヶ崎	26.8	26.6	27.5	26.8	20.0～29.6
6	竹浦	31.4	32.1	32.7	31.4	25.2～35.7
7	飯子浜入口	40.3	38.9	41.7	39.1	31.3～45.2
8	小積防波堤付近	43.2	42.9	42.6	39.6	29.6～45.6*2
9	荻浜	39.2	37.6	39.9	34.5	30.5～40.1
10	発電所女川ゲート	37.3	36.2	37.5	36.2	31.8～40.9
11	付替県道第四駐車場	32.1	32.0	32.8	31.4	29.0～47.0
12	発電所牡鹿ゲート	32.6	32.1	32.8	32.4	25.2～33.3
13	寄磯岸壁	28.4	27.8	29.1	27.2	24.7～31.3
14	鮫浦MP前	37.8	38.6	37.1	35.6	32.2～45.2
15	大谷川ポンプ小屋前	37.4	36.8	38.8	36.9	31.3～43.5
16	水産技術総合センター 養殖生産部前(谷川)	32.5	33.1	35.1	33.1	30.7～41.8
17	泊コミュニティセンター付近	53.4	54.5	55.2	51.7	44.5～59.2

*1 測定地点を固定した昭和60年度からの測定値の範囲を参考として示した。

*2 平成9年度第1四半期から測定地点を移動したが、旧地点のデータを含む。

平成22年度

(5) 環境試料の核種分析結果

イ ゲルマニウム半導体検出器による分析結果

表-4-5-1 月間降下物の核種分析結果 (1)

単位: Bq/m²

調査機関		宮 城 県					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		原子力センター					
		22. 4. 2 ~22. 5. 6	22. 5. 6 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22.10. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	321±1	272±1	97.2±0.7	109.2±0.7	22.1±0.3	264±1
	K - 40	1.3±0.2	1.3±0.2	0.73±0.17	0.78±0.15	0.88±0.17	0.95±0.18
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		2.7	3.0	1.6	2.3	1.6	2.3
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							

表-4-5-2 月間降下物の核種分析結果 (1)

単位: Bq/m²

調査機関		宮 城 県			
試料名		降 下 物			
採取地点		雨 水 ・ ち り			
採取期間		原子力センター			
		22.10. 1 ~22.11. 1	22.11. 1 ~22.12. 1	22.12. 1 ~23. 1. 4	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	
	Co- 58	N D	N D	N D	
	Fe- 59	N D	N D	N D	
	Co- 60	N D	N D	N D	
	Cs-134	N D	N D	N D	
	Cs-137	N D	N D	N D	
天然核種	Be- 7	293±1	25.1±0.3	213±1	
	K - 40	0.66±0.17	0.61±0.17	1.9±0.2	
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	
蒸発残渣量 (g/m ²)		2.3	1.4	5.4	
測定時間(秒)		80000	80000	80000	
備 考					(注)

(注) 1月及び2月分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。
3月分は、同震災により採取容器が流失したため欠測。

表-4-5-3 月間降下物の核種分析結果 (3)

単位: Bq/m²

調査機関		宮 城 県					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		保健環境センター					
採取期間		22. 4. 2 ~22. 5. 6	22. 5. 6 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22.10. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	232±1	120.4±0.8	85.3±0.6	172.4±1.0	39.7±0.5	88.5±0.7
	K - 40	1.4±0.2	11.1±0.4(注1)	6.3±0.3	5.6±0.3	4.5±0.2	35.8±0.6(注2)
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		3.5	7.5	7.7	7.4	5.7	12.6(注2)
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考		対照地点					

(注1) 5月分のK-40の値は、採取容器付近にある桜の木から落下した花びらの影響により高めの値となっている。

(注2) 9月分のK-40の値は、採取容器付近にある木からの落実・落葉の影響により高めの値となっている。

また、同影響により、蒸発残渣量も多めとなっている。

表-4-5-4 月間降下物の核種分析結果 (4)

単位: Bq/m²

調査機関		宮 城 県			
試料名		降 下 物			
採取地点		雨 水 ・ ち り			
採取期間		保健環境センター			
採取期間		22.10. 1 ~22.11. 1	22.11. 1 ~22.12. 1	22.12. 1 ~23. 1. 4	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	
	Co- 58	N D	N D	N D	
	Fe- 59	N D	N D	N D	
	Co- 60	N D	N D	N D	
	Cs-134	N D	N D	N D	
	Cs-137	N D	N D	N D	
天然核種	Be- 7	84.4±0.7	18.5±0.3	205.2±1.0	
	K - 40	40.2±0.6(注1)	6.8±0.3	1.8±0.2	
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	
蒸発残渣量 (g/m ²)		10.0	3.4	4.4	
測定時間(秒)		80000	80000	80000	
備 考		対照地点			(注2) 対照地点

(注1) 10月分のK-40の値は、採取容器付近にある木からの落葉の影響により高めの値となっている。

(注2) 1月及び2月分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

平成23年3月1日から8月8日までの期間の降下物を採取した試料の測定結果は、平成23年度第2四半期の報告書に記載。

表-4-5-5 月間降下物の核種分析結果 (5)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		小 屋 取					
採取期間		22. 4. 1 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22. 10. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	283±1	144.5±0.8	54.2±0.5	52.2±0.5	13.5±0.3	115.1±0.7
	K - 40	2.0±0.2	2.8±0.2	6.6±0.3	3.4±0.2	0.99±0.15	3.4±0.2
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		4.3	6.4	3.6	3.7	2.8	6.2
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							

表-4-5-6 月間降下物の核種分析結果 (6)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		小 屋 取					
採取期間		22. 10. 1 ~22. 11. 1	22. 11. 1 ~22. 12. 1	22. 12. 1 ~23. 1. 4	23. 1. 4 ~23. 2. 1	23. 2. 1 ~23. 3. 1	23. 3. 1 ~23. 4. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	[N D]	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	[N D]	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	[N D]	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	[N D]	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	[N D]	9290±3
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	[N D]	9239±2
天然核種	Be- 7	88.7±0.6	21.1±0.3	57.2±0.5	12.8±0.2	[49.3±0.7]	N D
	K - 40	1.9±0.2	2.5±0.2	3.5±0.2	(0.52) (注1)	[0.92±0.17]	N D
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		4.0	3.1	7.0	1.6	2.3	4.4
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考						(注2) その他検出核種 I-131: [53±16]	その他検出核種 I-131: 44500±200 Ag-110m: 38.0±0.4 Sb-125: 49±1 Te-129: 6030±30 Te-129m: 9340±40 Cs-136: 540±10

(注1) カッコ () 内の値は、測定値は検出下限値未満であるが、スペクトルに光電ピークが存在する場合の検出下限値を示す (以下、同様)。

(注2) 2月分は平成23年5月23日に測定したもので、試料保管中に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が付着したと推定されることから、参考値扱いとしカッコ []書きで示す。

表-4-5-7 月間降下物の核種分析結果 (7)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		牡 鹿 ゲ ー ト					
		22. 4. 1 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22.10. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	378±2	112.1±0.7	59.5±0.5	60.9±0.5	16.0±0.3	178.5±1.0
	K - 40	11.2±0.4	3.2±0.2	1.4±0.2	1.4±0.2	1.0±0.2	8.8±0.3
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		20.6	6.6	3.0	3.1	3.1	14.0
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							

表-4-5-8 月間降下物の核種分析結果 (8)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力					
試料名		降 下 物					
採取地点		雨 水 ・ ち り					
採取期間		牡 鹿 ゲ ー ト					
		22.10. 1 ~22.11. 1	22.11. 1 ~22.12. 1	22.12. 1 ~23. 1. 4	23. 1. 4 ~23. 2. 1	23. 2. 1 ~23. 3. 1	23. 3. 1 ~23. 4. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	9329±3
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	9248±2
天然核種	Be- 7	54.4±0.5	35.0±0.4	92.8±0.6	38.7±0.4	66.7±0.9	N D
	K - 40	1.8±0.2	4.6±0.2	7.1±0.3	11.0±0.3	16.3±0.4	6.4±0.7
試料量 (m ²)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
蒸発残渣量 (g/m ²)		3.3	6.1	13.2	16.2	24.2	11.6
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							その他検出核種 I-131: 40300±200 Ag-110m: 34.2±0.4 Sb-125: 45±1 Te-129: 5040±30 Te-129m: 7710±40 Cs-136: 560±10

表-4-5-9 四半期間降下物の核種分析結果(1)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力		
試料名		降 下 物		
		雨 水 ・ ち り		
採取地点		飯 子 浜 M S		
採取期間		22. 3. 31 ~22. 6. 29	22. 6. 29 ~22. 9. 30	22. 9. 30 ~22. 12. 27
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	442±2	213±2	272±2
	K - 40	2.8±0.6	11.7±0.8	3.3±0.6
試料量 (m ²)		0.166	0.166	0.166
蒸発残渣量 (g/m ²)		7.0	15.1	7.7
測定時間(秒)		80000	80000	80000
備 考				(注)

(注) 第4四半期分は、東日本大震災により採取容器が流失したため欠測。

表-4-5-10 四半期間降下物の核種分析結果(2)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力		
試料名		降 下 物		
		雨 水 ・ ち り		
採取地点		絞 浦 M S		
採取期間		22. 3. 31 ~22. 6. 29	22. 6. 29 ~22. 9. 30	22. 9. 30 ~22. 12. 27
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	361±2	337±2	227±2
	K - 40	3.0±0.6	6.7±0.6	4.5±0.6
試料量 (m ²)		0.166	0.166	0.166
蒸発残渣量 (g/m ²)		10.2	9.7	7.7
測定時間(秒)		80000	80000	80000
備 考				(注)

(注) 第4四半期分は、東日本大震災により採取容器が流失したため欠測。

表-4-5-11 四半期間降下物の核種分析結果 (3)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力			
試料名		降 下 物			
採取地点		雨 水 ・ ち り			
採取期間		谷 川 M S			
		22. 3. 31 ~22. 6. 29	22. 6. 29 ~22. 9. 30	22. 9. 30 ~22. 12. 27	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	
	Co- 58	N D	N D	N D	
	Fe- 59	N D	N D	N D	
	Co- 60	N D	N D	N D	
	Cs-134	N D	N D	N D	
	Cs-137	N D	N D	N D	
天然核種	Be- 7	362±2	221±2	171±2	
	K - 40	2.5±0.5	4.6±0.6	17.7±0.9(注1)	
試料量 (m ²)		0.166	0.166	0.166	
蒸発残渣量 (g/m ²)		10.8	7.2	12.2	
測定時間(秒)		80000	80000	80000	
備 考					(注2)

(注1) 12月採取分のK-40の値は、採取容器付近にある木からの落葉の影響により高めの値となっている。

(注2) 第4四半期分は、東日本大震災により採取容器が流失したため欠測。

表-4-5-12 四半期間降下物の核種分析結果 (4)

単位: Bq/m²

調査機関		東 北 電 力			
試料名		降 下 物			
採取地点		雨 水 ・ ち り			
採取期間		塚 浜			
		22. 4. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 9. 30	22. 9. 30 ~22. 12. 27	23. 1. 4 ~23. 4. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	8615±4
	Cs-137	N D	N D	N D	8438±4
天然核種	Be- 7	321±2	132±1	140±1	N D
	K - 40	3.6±0.6	2.0±0.5	7.0±0.6	N D
試料量 (m ²)		0.173	0.173	0.173	0.173
蒸発残渣量 (g/m ²)		8.3	5.5	11.9	8.2
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備 考					その他検出核種 I-131: 37100±600 Ag-110m: 25.2±0.6 Sb-125: 35±2 Te-129: 3130±50 Te-129m: 4650±70 Cs-136: 500±30

表-4-5-13 四半期間降下物の核種分析結果 (5)

単位：Bq/m²

調査機関		東 北 電 力			
試料名		降 下 物			
採取地点		雨 水 ・ ち り			
採取期間		付 替 県 道			
		22. 4. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 10. 1	22. 10. 1 ~23. 1. 4	23. 1. 4 ~23. 4. 4
対 象 核 種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	7765±4
	Cs-137	N D	N D	N D	7644±4
天然 核種	Be- 7	351±2	142±1	112±1	400±10
	K - 40	2.6±0.4	4.9±0.5	4.8±0.6	N D
試料量 (m ²)		0.173	0.173	0.173	0.173
蒸発残渣量 (g/m ²)		11.0	8.5	9.5	4.5
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備 考					その他検出核種 I-131:28200±500 Ag-110m: 22.5±0.6 Sb-125: 34±2 Te-129: 4400±40 Te-129m: 6720±70 Cs-136: 400±20

表-4-5-14 農産物の核種分析結果 (1)

単位：Bq/m²

調査機関		宮城県	東京電力
試料名		精米	
採取地点		谷川	谷川
採取期間		22. 11. 11	22. 10. 21
対 象 核 種	Mn- 54	N D	N D
	Co- 58	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D
	Co- 60	N D	N D
	Cs-134	N D	N D
	Cs-137	N D	0.016±0.002
天然 核種	Be- 7	N D	N D
	K - 40	28.1±0.3	26.6±0.2
試料量 (kg 生)		3.30	5.08
測定時間(秒)		80000	80000
備 考			

表-4-5-15 農産物の核種分析結果(2)

単位: Bq/m²

調査機関		宮城県			
試料名		大根			
		根	葉	根	葉
採取地点		横浦		谷川	
採取期間		22.11.11	22.11.11	22.11.11	22.11.11
対象核種	Mn-54	N D	N D	N D	N D
	Co-58	N D	N D	N D	N D
	Fe-59	N D	N D	N D	N D
	Co-60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	(0.021)
天然核種	Be-7	0.35±0.03	15.2±0.1	0.15±0.03	16.7±0.2
	K-40	94.4±0.3	119.2±0.5	92.0±0.3	127.9±0.6
試料量(kg生)		5.78	2.64	5.69	2.63
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-16 農産物の核種分析結果(3)

単位: Bq/m²

調査機関		東北電力			
試料名		大根			
		根	葉	根	葉
採取地点		野々浜		鮫浦	
採取期間		22.11.16	22.11.16	22.11.17	22.11.17
対象核種	Mn-54	N D	N D	N D	N D
	Co-58	N D	N D	N D	N D
	Fe-59	N D	N D	N D	N D
	Co-60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be-7	0.26±0.03	6.9±0.1	0.17±0.03	6.1±0.1
	K-40	78.3±0.3	125.7±0.6	78.1±0.3	128.2±0.6
試料量(kg生)		5.11	2.08	5.18	2.05
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-17 陸水の核種分析結果 (1)

単位：mBq/L

調査機関	宮 城 県			
試料名	陸 水			
	水 道 原 水			
採取地点	野々浜		前網浜	
採取月日	22. 7. 8		22. 7. 8	
対象核種	Mn- 54	N D		N D
	Co- 58	N D		N D
	Fe- 59	N D		N D
	Co- 60	N D		N D
	Cs-134	N D		N D
	Cs-137	N D		N D
天然核種	Be- 7	22±3		(13)
	K - 40	22±5		30±5
試料量 (l)	20.0		20.0	
測定時間(秒)	80000		80000	
備 考		(注)		(注)

(注) 第4四半期分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

表-4-5-18 陸水の核種分析結果 (2)

単位：mBq/L

調査機関	東 北 電 力				
試料名	陸 水				
	水 道 原 水				
採取地点	飯 子 浜				
採取月日	22. 6. 2	22. 9. 2	22.12.13	23. 3. 4	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 58	N D	N D	N D	[N D]
	Fe- 59	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 60	N D	N D	N D	[N D]
	Cs-134	N D	N D	N D	[487±3]
	Cs-137	N D	N D	N D	[504±3]
天然核種	Be- 7	N D	N D	N D	[N D]
	K - 40	16±4	19±4	19±4	[(12)]
試料量 (l)	20.0	20.0	20.0	20.0	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	
備 考				(注) その他検出核種 Ag-110m: [4.0±0.8] Te-129: [480±70] Te-129m: [690±110]	

(注) 第4四半期分は、平成23年6月13日に測定したもので、試料前処理及び保管中に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が混入または付着したと推定されることから、参考値扱いとしカッコ[]書きで示す。

表-4-5-19 陸土の核種分析結果

単位：Bq/kg 乾土

調査機関		宮城県		東北電力
試料名		陸土		
		未耕土		
採取地点		谷川浜	大崎市岩出山	牡鹿ゲート付近
採取月日		22. 6. 10	22. 6. 21	22. 12. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	(0.71)	4.2±0.2	13.1±0.2
天然核種	Be- 7	6.9±1.4	N D	N D
	K - 40	523±8	231±5	470±7
換算係数(注)		27.8	38.3	41.9
試料量(g)		106	91.2	137
測定時間(秒)		80000	80000	80000
備考			対照地点	

(注) 換算係数とは、Bq/kg 乾土からBq/m²への換算乗数を表す。

表-4-5-20 浮遊じんの核種分析結果 (1)

単位：mBq/m³

調査機関		東北電力					
試料名		浮遊じん					
採取地点		女川 M S					
採取期間		22. 3. 30 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 5. 28	22. 5. 28 ~22. 6. 29	22. 6. 29 ~22. 7. 30	22. 7. 30 ~22. 8. 31	22. 8. 31 ~22. 9. 30
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	4.73±0.10	2.77±0.09	3.65±0.09	1.88±0.07	2.72±0.08	4.27±0.10
	K - 40	N D	N D	N D	N D	N D	N D
試料量(m ³)		1119	968	1130	1152	1155	1099
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備考							

表-4-5-21 浮遊じんの核種分析結果 (2)

単位：mBq/m³

調査機関	東 北 電 力			
試料名	浮 遊 じ ん			
採取地点	女 川 M S			
採取期間	22. 9. 30 ~22. 10. 29	22. 10. 29 ~22. 11. 30	22. 11. 30 ~22. 12. 27	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	5.0±0.1	5.01±0.09	3.86±0.09
	K - 40	N D	N D	N D
試料量(m ³)	1107	1279	1118	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	
備 考				(注)

(注) 1月及び2月分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。3月分は、同震災の影響により欠測。

表-4-5-22 浮遊じんの核種分析結果 (3)

単位：mBq/m³

調査機関	東 北 電 力						
試料名	浮 遊 じ ん						
採取地点	鮫 浦 M S						
採取期間	22. 3. 30 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 5. 28	22. 5. 28 ~22. 6. 29	22. 6. 29 ~22. 7. 30	22. 7. 30 ~22. 8. 31	22. 8. 31 ~22. 9. 30	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	4.82±0.09	2.48±0.08	3.62±0.08	1.82±0.06	2.75±0.07	4.18±0.09
	K - 40	N D	N D	N D	N D	N D	N D
試料量(m ³)	1234	1042	1244	1242	1313	1222	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	80000	
備 考							

表-4-5-23 浮遊じんの核種分析結果 (4)

単位: mBq/m³

調査機関	東 北 電 力			
試料名	浮 遊 じ ん			
採取地点	鮫 浦 M S			
採取期間	22. 9. 30 ~22. 10. 29	22. 10. 29 ~22. 11. 30	22. 11. 30 ~22. 12. 27	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	5.1±0.1	4.89±0.09	3.69±0.09
	K - 40	N D	N D	N D
試料量(m ³)	1171	1296	1111	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	
備 考				(注)

(注) 1月及び2月分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。3月分は、同震災の影響により欠測。

表-4-5-24 浮遊じんの核種分析結果 (5)

単位: mBq/m³

調査機関	東 北 電 力						
試料名	浮 遊 じ ん						
採取地点	塚 浜 M S						
採取期間	22. 4. 1 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22. 10. 1	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	3.01±0.04	1.39±0.02	1.61±0.02	0.58±0.02	2.38±0.03	3.72±0.04
	K - 40	N D	N D	N D	N D	N D	N D
試料量(m ³)	6365	6851	6502	6835	6529	6620	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	80000	
備 考							

表-4-5-25 浮遊じんの核種分析結果(6)

単位: mBq/m³

調査機関		東 北 電 力					
試料名		浮 遊 じ ん					
採取地点		塚 浜 M S					
採取期間		22. 10. 1 ~22. 11. 1	22. 11. 1 ~22. 12. 1	22. 12. 1 ~23. 1. 4	23. 1. 4 ~23. 2. 1	23. 2. 1 ~23. 3. 1	23. 3. 1 ~23. 3. 11
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	[0. 16±0. 02]
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	[0. 19±0. 01]
天然核種	Be- 7	4. 36±0. 04	4. 39±0. 04	2. 88±0. 03	2. 98±0. 04	4. 69±0. 04	[4. 1±0. 1]
	K - 40	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
試料量(m ³)		6905	6715	7471	6163	6168	2211
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							(注1) (注2)

(注1) 東日本大震災の影響に伴う停電により、3月11日以降の試料採取は未実施。

(注2) 3月分の試料(ろ紙)の回収については、電源復旧後の5月2日に実施した。回収するまでの期間に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が試料に付着したものと推定されることから、参考値扱いとしカッコ[]書きで示す。

表-4-5-26 浮遊じんの核種分析結果(7)

単位: mBq/m³

調査機関		東 北 電 力					
試料名		浮 遊 じ ん					
採取地点		前 網 M S					
採取期間		22. 4. 1 ~22. 4. 30	22. 4. 30 ~22. 6. 1	22. 6. 1 ~22. 7. 1	22. 7. 1 ~22. 8. 2	22. 8. 2 ~22. 9. 1	22. 9. 1 ~22. 10. 1
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	4. 01±0. 05	2. 08±0. 03	2. 87±0. 03	1. 49±0. 02	2. 52±0. 03	3. 59±0. 04
	K - 40	N D	N D	N D	N D	N D	N D
試料量(m ³)		6182	6883	6433	6851	6422	6467
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備 考							

表-4-5-27 浮遊じんの核種分析結果 (8)

単位：mBq/m³

調査機関	東北電力						
試料名	浮遊じん						
採取地点	前網 M S						
採取期間	22.10.1 ~22.11.1	22.11.1 ~22.12.1	22.12.1 ~23.1.4	23.1.4 ~23.2.1	23.2.1 ~23.3.1	23.3.1 ~23.3.11	
対象核種	Mn-54	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Co-58	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Fe-59	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Co-60	N D	N D	N D	N D	N D	[N D]
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	[0.35±0.02]
	Cs-137	N D	N D	N D	N D	N D	[0.36±0.02]
天然核種	Be-7	4.22±0.04	4.22±0.04	2.66±0.03	2.79±0.03	4.50±0.04	[3.9±0.1]
	K-40	N D	N D	(0.063)	N D	N D	[N D]
試料量(m ³)	6740	6519	7342	6069	6041	2145	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	80000	
備考							(注1) (注2)

(注1) 東日本大震災の影響に伴う停電により、3月11日以降の試料採取は未実施。

(注2) 3月分の試料(ろ紙)の回収については、電源復旧後の4月20日に実施した。回収するまでの期間に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が試料に付着したものと推定されることから、参考値扱いとしカッコ[]書きで示す。

表-4-5-28 浮遊じんの核種分析結果 (9)

単位：mBq/m³

調査機関	東北電力			
試料名	浮遊じん			
採取地点	寺間 M S			
採取期間	22.3.29 ~22.6.28	22.6.28 ~22.9.27	22.9.27 ~22.12.24	22.12.24 ~23.3.11
対象核種	Mn-54	N D	N D	[N D]
	Co-58	N D	N D	[N D]
	Fe-59	N D	N D	[N D]
	Co-60	N D	N D	[N D]
	Cs-134	N D	N D	[0.462±0.004]
	Cs-137	N D	N D	[0.481±0.004]
天然核種	Be-7	2.28±0.02	2.03±0.02	3.00±0.02
	K-40	N D	N D	[(0.043)]
試料量(m ³)	19629	20073	19296	15637
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000
備考				(注1) (注2) その他検出核種 Ag-110m: [0.0096±0.0012] Te-129: [1.1±0.2] Te-129m: [1.3±0.2]

(注1) 東日本大震災の影響に伴う停電により、3月11日以降の試料採取は未実施。

(注2) 3月分の試料(ろ紙)の回収については、電源復旧後の6月20日に実施した。回収するまでの期間に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が試料に付着したものと推定されることから、参考値扱いとしカッコ[]書きで示す。

表-4-5-29 浮遊じんの核種分析結果 (10)

単位：mBq/m³

調査機関	東 北 電 力				
試料名	浮 遊 じ ん				
採取地点	江 島 M S				
採取期間	22. 3. 29 ~22. 6. 28	22. 6. 28 ~22. 9. 27	22. 9. 27 ~22. 12. 24	22. 12. 24 ~23. 3. 11	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 58	N D	N D	N D	[N D]
	Fe- 59	N D	N D	N D	[N D]
	Co- 60	N D	N D	N D	[N D]
	Cs-134	N D	N D	N D	[0.0055±0.0010]
	Cs-137	N D	N D	N D	[0.0077±0.0009]
天然核種	Be- 7	2.33±0.02	2.10±0.02	3.08±0.02	[2.92±0.10]
	K - 40	N D	N D	(0.039)	[N D]
試料量(m ³)	19332	19324	18874	16490	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	
備 考				(注1) (注2)	

(注1) 東日本大震災の影響に伴う停電により、3月11日以降の試料採取は未実施。

(注2) 3月分の試料(ろ紙)の回収については、電源復旧後の9月29日に実施した。回収するまでの期間に東京電力(株)福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性核種が試料に付着したものと推定されることから、参考値扱いとしカッコ[]書きで示す。

表-4-5-30 指標植物の核種分析結果 (1)

単位：Bq/kg生

調査機関	宮 城 県		東北電力	
試料名	ヨモギ 葉			
採取地点	谷川	大崎市岩出山	前 網	
採取月日	22. 7. 5	22. 7. 12	22. 7. 9	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D
	Cs-137	0.059±0.008	0.127±0.009	N D
天然核種	Be- 7	38.6±0.3	55.1±0.3	55.5±0.4
	K - 40	231.7±0.9	258.4±0.9	259±1
試料量(kg生)	1.88	1.70	1.50	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	
備 考		対照地点		

表-4-5-31 指標植物の核種分析結果(2)

単位: Bq/kg生

調査機関		東北電力			
試料名		松葉			
採取地点		小屋取			
採取月日		22. 5. 10	22. 8. 4	22. 11. 4	23. 2. 3
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	0.055±0.006	0.020±0.005	0.027±0.007	0.032±0.005
天然核種	Be- 7	60.9±0.3	45.1±0.3	57.8±0.3	26.6±0.2
	K - 40	59.7±0.4	47.9±0.4	69.4±0.5	65.5±0.5
試料量(kg生)		2.05	2.00	2.02	2.01
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-32 指標植物の核種分析結果(3)

単位: Bq/kg生

調査機関		東北電力			
試料名		松葉			
採取地点		牡鹿ゲート付近		付替県道	
採取月日		22. 5. 10	22. 11. 4	22. 5. 10	22. 11. 8
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	0.045±0.005	0.036±0.006	0.057±0.006	0.051±0.006
天然核種	Be- 7	77.0±0.4	60.8±0.3	70.3±0.4	55.6±0.3
	K - 40	72.4±0.5	86.8±0.5	64.1±0.4	67.8±0.5
試料量(kg生)		2.10	2.02	2.02	2.09
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-33 魚介類の核種分析結果(1)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県		東北電力	
試料名		アイナメ			
		肉			
採取地点		前面海域			
採取月日		22. 7. 13	22. 5. 19	22. 10. 8	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	
	Co- 58	N D	N D	N D	
	Fe- 59	N D	N D	N D	
	Co- 60	N D	N D	N D	
	Cs-134	N D	N D	N D	
	Cs-137	0.062±0.007	0.087±0.008	0.065±0.007	
天然核種	Be- 7	N D	N D	N D	
	K - 40	120.3±0.7	126.3±0.7	117.2±0.7	
試料量(kg生)		1.70	1.54	1.56	
測定時間(秒)		80000	80000	80000	
備考					

表-3-5-34 魚介類の核種分析結果(2)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県			東北電力	
試料名		ホヤ		アワビ	ホヤ	ウニ
		肉			肉	除殻
採取地点		小屋取	塚浜	放水口付近	小屋取	小屋取
採取月日		22. 6. 17	22. 6. 14	22. 12. 21	22. 7. 20	22. 7. 28
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	0.030±0.009	0.034±0.009	N D	(0.029)
天然核種	Be- 7	14.6±0.2	8.8±0.1	0.61±0.05	8.3±0.1	0.29±0.06
	K - 40	82.6±0.5	82.8±0.6	73.6±0.5	100.4±0.6	121.2±0.7
試料量(kg生)		1.79	1.65	1.75	2.03	2.04
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000
備考						

表-3-5-35 魚介類の核種分析結果 (3)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県				東北電力	
試料名		カキ					
		除殻					
採取地点		飯子浜	竹浦	出島	気仙沼	飯子浜	
採取月日		22. 10. 25	22. 11. 18	22. 11. 17	22. 11. 22	22. 10. 4	23. 1. 18
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(0.024)	N D	0.023±0.006	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	4.4±0.1	2.8±0.1	2.25±0.09	1.50±0.07	2.63±0.08	1.11±0.06
	K - 40	71.3±0.5	71.8±0.5	67.7±0.5	87.3±0.6	67.3±0.5	64.5±0.5
試料量(kg生)		1.63	1.57	1.64	1.70	2.01	2.00
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備考					対照地点		

表-4-5-36 海藻の核種分析結果

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県		東北電力	
試料名		ワカメ			
		除根			
採取地点		放水口付近	前面海域	放水口付近	
採取月日		22. 5. 17	22. 5. 17	22. 5. 17	22. 6. 16
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	0.46±0.07	0.51±0.07	0.61±0.11	0.61±0.09
	K - 40	208±1	188±1	210±1	229±1
試料量(kg生)		1.13	1.17	1.52	1.50
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-37 海水の核種分析結果(1)

単位: mBq/l

調査機関		宮城県					
試料名		海水 表層水					
採取地点		放水口付近					
採取月日		22. 5. 14		22. 8. 9	22. 9. 29	22. 11. 11	
処理方法		共沈法	迅速法	迅速法	迅速法	共沈法	迅速法
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(1.5)	N D	N D	N D	(1.6)	N D
天然核種	Be- 7		N D	N D	N D		N D
	K - 40		10700±300	11800±300	11700±300		11800±300
参考核種	I-131		N D	N D	N D		N D
試料量(1)		20.0	2.0	2.0	2.0	20.0	20.0
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
備考							

表-4-5-38 海水の核種分析結果(2)

単位: mBq/l

調査機関		宮城県			
試料名		海水 表層水			
採取地点		放水口付近	鮫浦湾		気仙沼湾
採取月日			22. 5. 14	22. 11. 11	22. 10. 12
処理方法			共沈法	共沈法	共沈法
対象核種	Mn- 54		N D	N D	N D
	Co- 58		N D	N D	N D
	Fe- 59		N D	N D	N D
	Co- 60		N D	N D	N D
	Cs-134		N D	N D	N D
	Cs-137		N D	N D	(1.6)
天然核種	Be- 7				
	K - 40				
参考核種	I-131				
試料量(1)			20.0	20.0	20.0
測定時間(秒)			80000	80000	80000
備考		(注)			対照地点

(注) 放水口付近の2月分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。3月分は、東日本大震災の影響により欠測。

表-4-5-39 海水の核種分析結果 (3)

単位: mBq/l

調査機関		東北電力				
試料名		海水 表層水				
採取地点		放水口付近				
採取月日		22. 4. 8		22. 6. 17	22. 7. 8	
処理方法		共沈法	迅速法	迅速法	共沈法	迅速法
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	2.2±0.3	N D
天然核種	Be- 7	/	N D	N D	/	N D
	K - 40	/	11500±400	11800±400	/	11100±400
参考核種	I-131	/	N D	N D	/	N D
試料量(1)		20.0	2.0	2.0	20.0	2.0
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000
備考						

表-4-5-40 海水の核種分析結果 (4)

単位: mBq/l

調査機関		東北電力				
試料名		海水 表層水				
採取地点		放水口付近				
採取月日		22. 10. 7		22. 12. 7	23. 1. 6	
処理方法		共沈法	迅速法	迅速法	共沈法	迅速法
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(1.4)	N D	N D	(1.3)	N D
天然核種	Be- 7	/	N D	N D	/	N D
	K - 40	/	11600±400	12100±400	/	12300±400
参考核種	I-131	/	N D	N D	/	N D
試料量(1)		20.0	2.0	2.0	20.0	2.0
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000
備考						

表-4-5-41 海水の核種分析結果 (5)

単位：mBq/l

調査機関	東北電力				
試料名	海水				
	表層水				
採取地点	取水口付近				
採取月日	22. 4. 8	22. 7. 8	22.10. 7	23. 1. 6	
処理方法	共沈法	共沈法	共沈法	共沈法	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(1.8)	(1.4)	1.6±0.3	(1.4)
試料量(l)	20.0	20.0	20.0	20.0	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	
備考					

表-4-5-42 海底土の核種分析結果 (1)

単位：Bq/kg乾土

調査機関	宮城県					
試料名	海底土					
	表層土					
採取地点	放水口付近		鮫浦湾		気仙沼湾	
採取月日	22. 5. 14	22. 11. 11	22. 5. 14	22. 11. 11	22. 10. 12	
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	1.5±0.2	1.2±0.2	1.0±0.1
天然核種	Be- 7	N D	N D	11±1	15±2	13±1
	K - 40	518±7	496±7	556±8	554±8	343±6
試料量(g乾土)	132	135	107	111	104	
測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	
備考					対照地点	

表-4-5-43 海底土の核種分析結果(2)

単位: Bq/kg 乾土

調査機関		東北電力			
試料名		海底土 表層土			
採取地点		放水口付近			
採取月日		22. 4. 8	22. 7. 8	22.10. 7	23. 1. 6
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	N D	N D	N D	(0.47)
天然核種	Be- 7	N D	6.2±0.9	11±1	5.2±0.9
	K - 40	370±6	437±6	433±6	473±6
試料量(g 乾土)		159	162	154	154
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-44 海底土の核種分析結果(3)

単位: Bq/kg 乾土

調査機関		東北電力			
試料名		海底土 表層土			
採取地点		取水口付近			
採取月日		22. 4. 8	22. 7. 8	22.10. 7	23. 1. 6
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(0.46)	N D	N D	(0.54)
天然核種	Be- 7	(6.4)	7.0±1.0	8.8±1.1	16±1
	K - 40	602±7	562±7	568±7	536±7
試料量(g 乾土)		153	166	164	151
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

表-4-5-45 指標海産物の核種分析結果(1)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県						
試料名		アラメ						
		除根						
採取地点		放水口付近				牡鹿半島北側		
採取月日		22. 5.17	22. 8. 9	22.11.11		22. 5.18	22. 8. 9	
灰化法	対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D		N D	N D
		Co- 58	N D	N D	N D		N D	N D
		Fe- 59	N D	N D	N D		N D	N D
		Co- 60	N D	N D	N D		N D	N D
		Cs-134	N D	N D	N D		N D	N D
		Cs-137	N D	(0.052)	N D		N D	0.057±0.018
	天然核種	Be- 7	(0.48)	(0.42)	2.0±0.1		N D	0.54±0.10
		K - 40	350±1	289±1	362±2		331±1	288±1
	試料量(kg生)		1.01	1.03	0.85		1.03	1.04
	測定時間(秒)		80000	80000	80000		80000	80000
迅速法	参考核種	I-131	N D	N D	N D		N D	(0.064)
		試料量(kg生)	2.11	2.17	1.92		2.02	2.19
	測定時間(秒)		80000	80000	80000		80000	80000
備考					(注)	対照海域		

(注) 第4四半期分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

表-4-5-46 指標海産物の核種分析結果(2)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県						
試料名		アラメ						
		除根						
採取地点		牡鹿半島北側			牡鹿半島西側			
採取月日		22.11. 8		22. 5.18	22. 8. 9	22.11. 8		
灰化法	対象核種	Mn- 54	N D		N D	N D	N D	
		Co- 58	N D		N D	N D	N D	
		Fe- 59	N D		N D	N D	N D	
		Co- 60	N D		N D	N D	N D	
		Cs-134	N D		N D	N D	N D	
		Cs-137	(0.064)		N D	0.069±0.013	(0.069)	
	天然核種	Be- 7	1.1±0.1		N D	ND	(0.51)	
		K - 40	395±2		408±2	273±1	410±2	
	試料量(kg生)		0.88		1.02	1.14	0.88	
	測定時間(秒)		80000		80000	80000	80000	
迅速法	参考核種	I-131	N D		N D	0.23±0.02	0.11±0.02	
		試料量(kg生)	2.15		2.00	2.04	2.07	
	測定時間(秒)		80000		80000	80000	80000	
備考		対照海域	(注) 対照海域		対照海域		(注) 対照海域	

(注) 第4四半期分は、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

表-4-5-47 指標海産物の核種分析結果 (3)

単位: Bq/kg生

調査機関		東北電力					
試料名		アラメ					
		除根					
採取地点		前面海域				周辺海域	
採取月日		22. 5. 17	22. 8. 10	22. 11. 11	23. 2. 7	22. 5. 11	22. 8. 10
灰化法	対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
		Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
		Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
		Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
		Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
		Cs-137	N D	(0.048)	(0.062)	0.062±0.016	(0.053)
天然核種	Be- 7	0.56±0.12	0.56±0.10	0.97±0.14	N D	0.59±0.13	N D
	K - 40	339±1	288±1	392±2	363±2	289±1	322±1
試料量(kg生)		1.52	1.51	1.51	1.51	1.50	1.50
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
迅速法	参考核種	I-131	N D	N D	N D	0.084±0.019	N D
	試料量(kg生)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	80000
備考							

表-4-5-48 指標海産物の核種分析結果 (4)

単位: Bq/kg生

調査機関		東北電力					
試料名		アラメ					
		除根					
採取地点		周辺海域			牡鹿半島南側		
採取月日		22. 11. 9	23. 2. 22	22. 5. 17	22. 8. 9	22. 11. 16	23. 2. 8
灰化法	対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D	N D
		Co- 58	N D	N D	N D	N D	N D
		Fe- 59	N D	N D	N D	N D	N D
		Co- 60	N D	N D	N D	N D	N D
		Cs-134	N D	N D	N D	N D	N D
		Cs-137	(0.059)	N D	N D	N D	N D
天然核種	Be- 7	1.4±0.1	N D	N D	1.2±0.1	1.2±0.1	N D
	K - 40	381±2	362±2	327±1	329±1	374±2	341±1
試料量(kg生)		1.51	1.51	1.51	1.50	1.51	1.52
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000	80000	80000
迅速法	参考核種	I-131	N D	N D	N D	0.090±0.018	N D
	試料量(kg生)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	測定時間(秒)	80000	80000	80000	80000	80000	80000
備考					対照海域		

表-4-5-49 指標海産物の核種分析結果(5)

単位: Bq/kg生

調査機関		宮城県		東北電力	
試料名		ムラサキイガイ			
		除殻			
採取地点		前面海域			
採取月日		22. 4. 16	22. 10. 19	22. 7. 20	23. 1. 24
対象核種	Mn- 54	N D	N D	N D	N D
	Co- 58	N D	N D	N D	N D
	Fe- 59	N D	N D	N D	N D
	Co- 60	N D	N D	N D	N D
	Cs-134	N D	N D	N D	N D
	Cs-137	(0.029)	(0.021)	N D	N D
天然核種	Be- 7	9.0±0.1	8.1±0.1	6.1±0.1	0.95±0.07
	K - 40	88.2±0.6	74.0±0.5	72.1±0.6	61.2±0.5
試料量(kg生)		1.54	2.11	1.5	1.54
測定時間(秒)		80000	80000	80000	80000
備考					

ロ Sr (ストロンチウム)-90 の分析結果

表-4-5-50 Sr-90 の分析結果

調査機関	試料名	部位	採取地点	採取年月日	Sr-90 濃度		Ca 濃度 (g/kg生)	Sr 単位 (Bq/g・Ca)
					測定値	単位		
宮城県	精米	精米	谷川	22.11.11	ND	Bq/kg生	0.094	ND
	ヨモギ	葉	谷川	22.7.5	0.163±0.006	Bq/kg生	2.7	0.060±0.002
	ヨモギ	葉	大崎市岩出山 (対照地点)	22.7.12	0.79±0.01	Bq/kg生	2.6	0.308±0.004
	アイナメ	肉	前面海域	22.7.13	ND	Bq/kg生	2.3	ND
	カキ	除殻	飯子浜	22.10.25	ND	Bq/kg生	0.71	ND
	カキ	除殻	気仙沼 (対照地点)	22.11.22	ND	Bq/kg生	0.31	ND
	ホヤ	肉	小屋取	22.6.17	ND	Bq/kg生	0.23	ND
	ワカメ	除根	放水口付近	22.5.17	0.023±0.005	Bq/kg生	1.0	0.023±0.005
	アラメ	除根	放水口付近	22.8.9	0.029±0.005	Bq/kg生	2.1	0.014±0.003
	アラメ	除根	放水口付近	(注)	(注)	Bq/kg生	(注)	(注)
東北電力	精米	精米	谷川	22.10.21	ND	Bq/kg生	0.043	ND
	陸土	未耕土	牡鹿ゲート付近	22.12.1	1.6±0.1	Bq/kg乾土		
	ヨモギ	葉	前網	22.7.9	0.065±0.010	Bq/kg生	3.4	0.019±0.003
	松	葉	小屋取	22.5.10	0.89±0.03	Bq/kg生	2.1	0.42±0.01
	アイナメ	肉	前面海域	22.10.8	ND	Bq/kg生	1.6	ND
	カキ	除殻	飯子浜	23.1.18	ND	Bq/kg生	0.51	ND
	ホヤ	肉	小屋取	22.7.20	ND	Bq/kg生	0.31	ND
	ワカメ	除根	放水口付近	22.5.17	0.036±0.008	Bq/kg生	1.8	0.020±0.005
	ムラサキイガイ	除殻	前面海域	22.7.20	ND	Bq/kg生	0.44	ND
	アラメ	除根	前面海域	22.8.10	ND	Bq/kg生	2.8	ND
	海水	表層水	放水口付近	23.1.6	1.9±0.5	mBq/L		
	海底土	表層土	放水口付近	22.10.7	ND	Bq/kg乾土		

(注) 宮城県が第4四半期に採取したアラメについては、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

ハ H-3(トリチウム)の分析結果

表-4-5-51 H-3の分析結果

調査機関	試料名		採取地点	採取年月日	H-3濃度	
					測定値	単位
宮城県	陸水	水道原水	野々浜	22. 7. 8	ND	mBq/l
				(注)	(注)	
			前網浜	22. 7. 8	ND	
				(注)	(注)	
	海水	表層水	放水口付近	22. 5. 14	ND	
				22. 11. 11	ND	
		気仙沼湾 (対照地点)	22. 10. 12	ND		
東北電力	陸水	水道原水	飯子浜	22. 6. 2	ND	
				22. 12. 13	ND	
	海水	表層水	放水口付近	22. 7. 8	340±110	
				23. 1. 6	ND	
			取水口付近	22. 7. 8	ND	
				23. 1. 6	ND	

(注) 宮城県が第4四半期に採取した陸水については、東日本大震災により測定結果が流失したため欠測。

5 自然放射線等による実効線量

女川原子力発電所に起因する被ばくは認められなかったが、参考のために自然放射線による外部被ばく、及び核実験に起因する人工放射性核種による内部被ばく線量を計算した。計算方法は「環境放射線モニタリング指針(原子力安全委員会)」による。

熱蛍光線量計(TLD)を用いて測定した空間ガンマ線積算線量から外部被ばくによる実効線量を推定すると、平成22年度の最大値は0.90ミリシーベルトであった。

表一5に、平成22年度に測定された人工放射性核種、Cs-137、Sr-90及びH-3による内部被ばく預託実効線量(摂取後50年間の総線量)の計算結果を示す。内部被ばくによる預託実効線量の合計は最大に見積もっても0.00013ミリシーベルトであり、極めて低い値であった。

表—5 内部被ばくによる預託実効線量計算結果(平成22年度)

核種等	食品の種類	葉根菜	米・加工品	魚	無脊椎動物	海藻	飲料水	合計
	1日当たり 経口摂取量	100 g	389.4 g	200 g	20 g	40 g	2.65 l	
Cs-137	最大濃度(Bq/kg 生)	ND	0.016	0.087	0.034	ND	ND	0.12
	預託実効線量 (マイクロシーベルト)	0.0	0.030	0.083	0.0032	0.0	0.0	
Sr-90	最大濃度(Bq/kg 生)		ND	ND	ND	0.036		0.015
	預託実効線量 (マイクロシーベルト)		0.0	0.0	0.0	0.015		
H-3	最大濃度(Bq/l)						ND	0.0
	預託実効線量 (マイクロシーベルト)						0.0	
該当する環境試料		大根 (葉根)	精米	アイナメ	カキ ホヤ アワビ ウニ	ワカメ	水道 原水	預託実効線量 合計 0.13 (マイクロシーベルト)

(注1) 11ページの表—5に示す平成22年度の環境試料の核種分析結果のうち、食品試料及び飲料水中の測定された人工放射性核種(核実験等によるCs-137, Sr-90及びH-3)の最大濃度を用いて、1年間の食物または飲料水の摂取に基づく預託実効線量を計算した。

計算方法は原子力安全委員会「環境放射線モニタリング指針(平成20年3月決定)」によった。計算式は以下の通りである。

$$[\text{預託実効線量 (mSv)}] = [\text{実効線量係数 (mSv/Bq)}] \times [\text{食物(飲料水)の1日当たり摂取量 (kg)}] \times 365 \times [\text{食物(飲料水)中の核種の年間最大濃度 (Bq/kg)}]$$

ここで、実効線量係数の値はCs-137、Sr-90及びH-3に対して、それぞれ 1.3×10^{-5} 、 2.8×10^{-5} 、 1.8×10^{-8} である。

(注2) 「ND」(Not Detected)はその核種が検出下限値未満であることを示す。空白の欄は測定対象外であることを示す。

(注3) 成人が1人当たり摂取する精米の量には、厚生労働省発行の「平成15年国民健康・栄養調査報告」に記載されている東北地方の平均値を用いた。なお、平成13年版より食料の分が変更され「米」が「米・加工品」となった。その他の食品及び飲料水の摂取量は「環境放射線モニタリング指針」に引用されている値を用いた。

(注4) 1マイクロシーベルト(μSv) = 1/1000ミリシーベルト(mSv)

6 女川原子力発電所の運転状況

(1) 1号機の運転実績 (平成22年度)

項目	月	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月	3月	計
発電日数 (日)		0	0	0	17	31	30	31	30	31	31	28	11	240
発電時間数 (時間)		0	0	0	393	744	720	744	720	744	744	672	255	5,736
電力量(発電端) (10 ³ kWh)		0	0	0	174,779	398,111	384,398	398,596	387,251	400,656	400,893	361,963	137,216	3,043,863
最大電力 (kW)		0	0	0	537,000	538,000	536,000	537,000	539,000	539,000	539,000	539,000	539,000	539,000
時間稼働率 (%)		0.0	0.0	0.0	52.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	34.2	65.5
設備利用率 (%)		0.0	0.0	0.0	44.8	102.1	101.9	102.2	102.6	102.8	102.8	102.8	35.2	66.3

注1 時間稼働率 = (発電時間/暦時間) × 100%

注2 設備利用率 = (発電電力量 / (認可出力 × 暦時間)) × 100%

(2) 2号機の運転実績 (平成22年度)

項目	平成22年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月	3月	
発電日数 (日)	30	31	30	31	31	30	31	31	6	0	0	0	220
発電時間数 (時間)	720	744	720	744	744	720	744	744	121	0	0	0	5,257
電力量(発電端) (10 ³ kWh)	602,060	621,910	601,163	620,794	619,167	598,488	606,806	89,171	0	0	0	0	4,359,559
最大電力 (kW)	837,000	837,000	836,000	835,000	835,000	833,000	833,000	773,000	0	0	0	0	837,000
時間稼働率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	16.8	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
設備利用率 (%)	101.4	101.3	101.2	101.1	100.9	100.8	98.9	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.3

注1 時間稼働率 = (発電時間 / 暦時間) × 100%

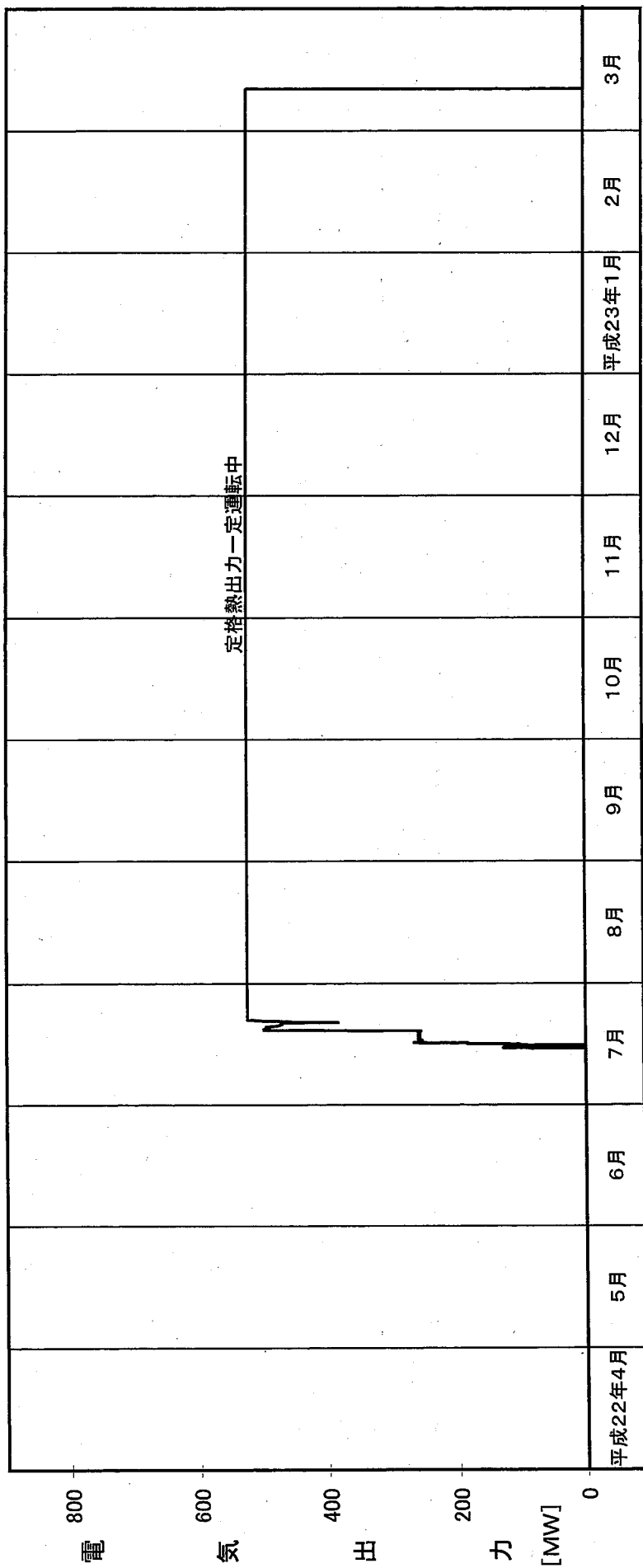
注2 設備利用率 = (発電電力量 / (認可出力 × 暦時間)) × 100%

(3) 3号機の運転実績 (平成22年度)

項目	平成22年				平成23年				計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
発電日数 (日)	30	31	30	29	0	0	3	30	31	31	28	11	254
発電時間数 (時間)	720	744	720	673	0	0	59	720	744	744	672	255	6,051
電力量(発電端) (10 ³ kWh)	615,182	635,603	614,558	568,949	0	0	30,633	614,588	631,602	579,494	574,216	217,680	5,082,505
最大電力 (kW)	855,000	856,000	855,000	854,000	0	0	824,000	856,000	856,000	856,000	855,000	855,000	856,000
時間稼働率 (%)	100.0	100.0	100.0	90.5	0.0	0.0	7.9	100.0	100.0	100.0	100.0	34.2	69.1
設備利用率 (%)	103.6	103.6	103.5	92.7	0.0	0.0	5.0	103.5	102.9	94.4	103.6	35.5	70.3

注1 時間稼働率 = (発電時間 / 暦時間) × 100%

注2 設備利用率 = (認可出力 × 暦時間) / (発電電力量) × 100%

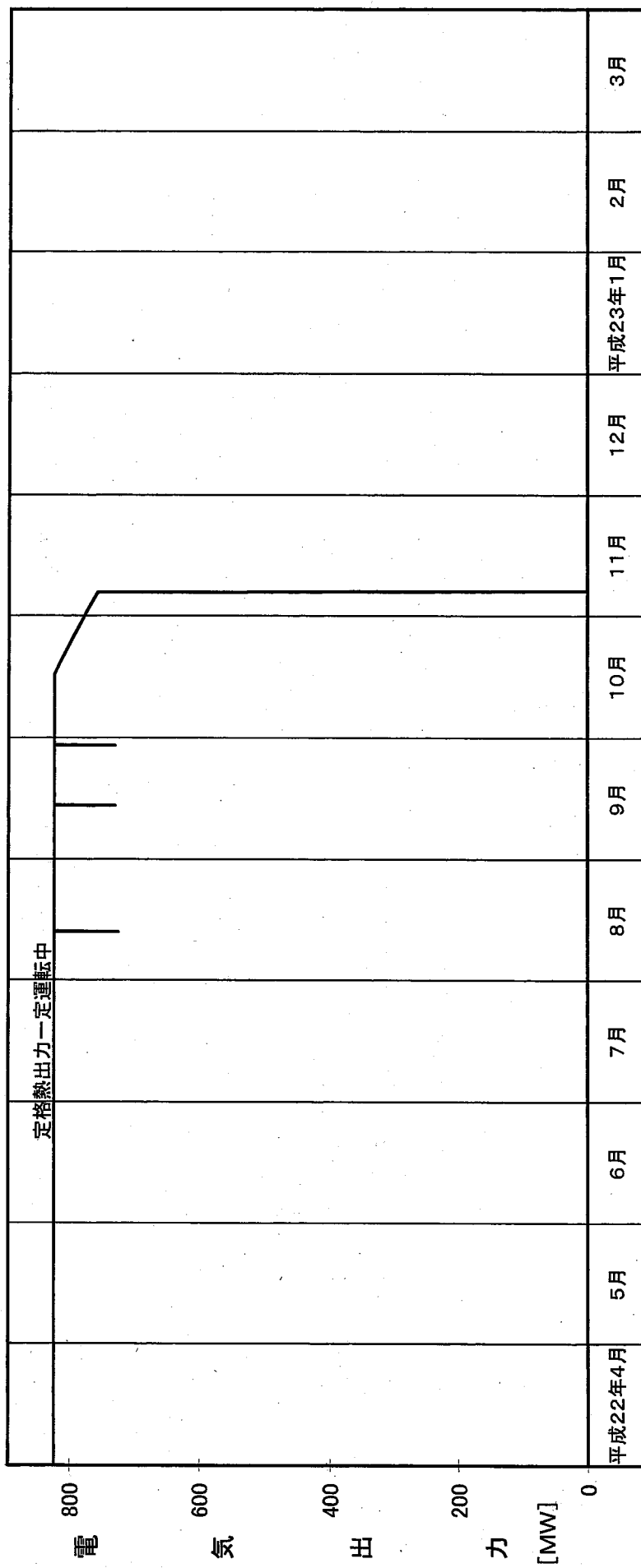


定格熱出力一定運転中

[運転状況] H22/ 2/23 ~ 8/11 第19回定期検査
 H22/ 7/6 原子炉起動
 7/16 発電機並列
 7/22 定格熱出力到達

H23/ 3/11 地震による原子炉自動停止

女川原子力発電所1号機の運転状況(平成22年度)

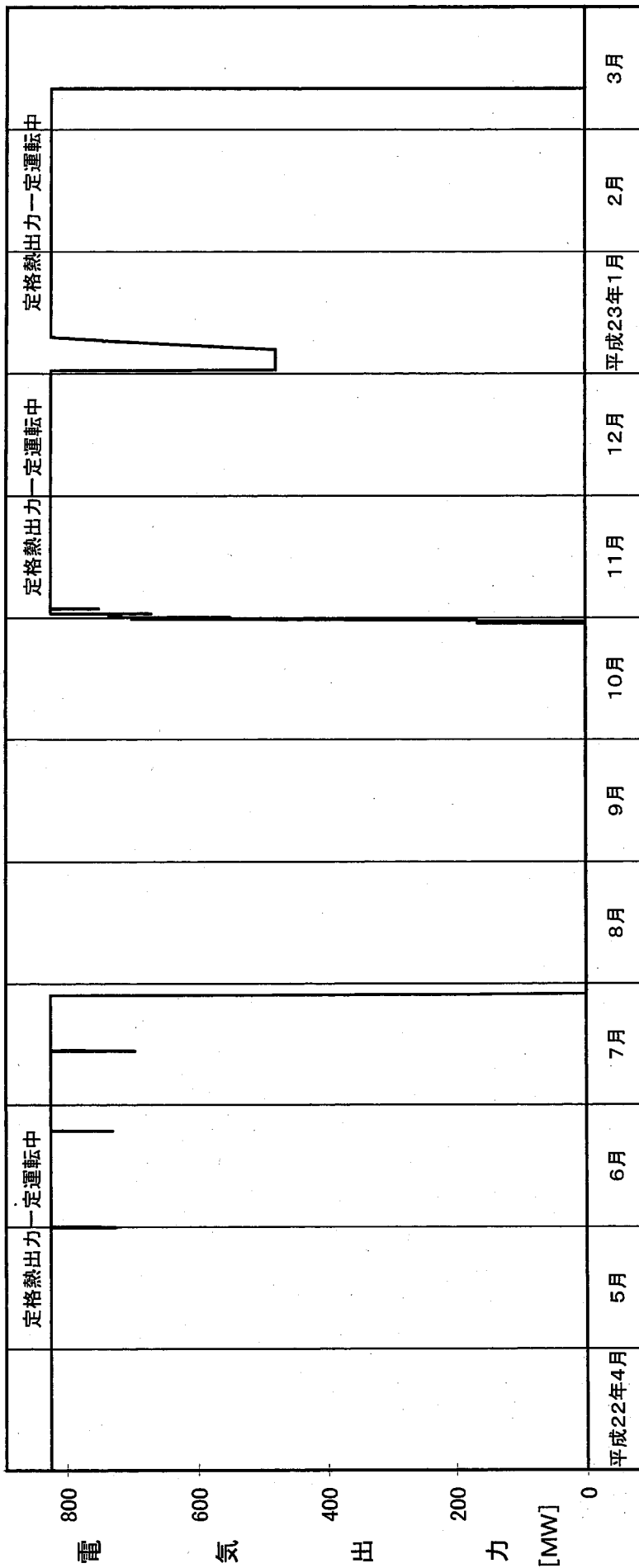


[運転状況]

H22/ 8/12 制御棒パターン調整
 9/13 制御棒パターン調整
 9/28 制御棒パターン調整
 10/15 ~ 11/5 コースダウン運転
 11/6 ~ 第11回定期検査

H23/ 3/11 原子炉起動
 3/11 地震による原子炉自動停止

女川原子力発電所2号機の運転状況（平成22年度）



[運転状況]

H22/ 5/31 制御棒パターン調整
 6/24 制御棒パターン調整
 7/14 制御棒パターン調整
 7/29 ~ 11/25 第6回定期検査
 10/27 原子炉起動
 10/29 発電機並列
 11/2 定格熱出力到達

H22/ 12/31 ~ H23/1/9 放射性気体廃棄物処理系放射性物質濃度上昇に係る調査のため出力降下
 H23/ 1/9 定格熱出力到達
 3/11 地震による原子炉自動停止

女川原子力発電所3号機の運転状況（平成22年度）

(4)放射性廃棄物の管理状況(平成22年度)

	放射性気体廃棄物 *1		放射性液体廃棄物 *2		放射性固体廃棄物	
	放射性希ガス 注1 (Bq)	放射性ヨウ素 (I-131)注2 (Bq)	トリチウム を除く注3 (Bq)	トリチウム (Bq)	ドラム缶等 発生量 (本相当)注6	ドラム缶等累積 保管量注5 (本相当)注6
1号機	7.1×10^{11}	6.3×10^9	N D	2.0×10^{10}	7,097	27,068
2号機	2.1×10^{12}	1.1×10^{10}	N D	1.3×10^9		
3号機	2.5×10^{12}	9.4×10^9	N D	6.5×10^8		
原子炉施設合計	5.4×10^{12}	2.7×10^{10}	N D	2.2×10^{10}		
年間放出管理 目標値	3.8×10^{15}	1.3×10^{11}	1.1×10^{10}	注4		

*1 放射性希ガスおよび放射性ヨウ素の放出は、福島第一原子力発電所の事故による影響と推測される。

*2 平成22年度は、洗濯廃液の処理水のみである。(1・2号機洗濯廃液処理設備は共用設備であり、洗濯廃液の処理水の放出は原則として1号機放水路から行う。)

注1 測定下限濃度は $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ である。

注2 測定下限濃度は $7 \times 10^{-9} \text{Bq/cm}^3$ である。

注3 測定下限濃度は $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ である。(60Coで代表した。)

注4 原子炉設置許可申請書記載の被ばく線量算定に用いる前提条件は年間 $1.11 \times 10^{13} \text{Bq}$ である。

注5 放射性固体廃棄物貯蔵能力は、約30,000本相当である。

注6 200リットルドラム缶に換算した本数。

(5) モニタリングポスト測定結果 (平成22年度)

(単位: nGy/h)

	MP-1				MP-2				MP-3				MP-4				MP-5				MP-6			
	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差
4月	70	35	32	2.9	65	30	28	2.9	68	34	31	3.2	65	33	31	2.9	63	33	30	2.8	80	48	45	2.8
5月	57	35	32	3.1	53	30	28	3.2	58	33	31	3.6	55	33	30	3.5	54	33	30	3.3	69	48	44	3.3
6月	51	34	32	2.1	46	30	28	2.1	51	33	31	2.1	51	33	30	2.1	49	32	30	2.1	62	47	44	2.0
7月	51	34	32	2.1	47	30	27	2.0	49	33	31	2.1	51	33	30	2.2	49	32	30	2.2	63	47	44	2.2
8月	51	36	33	1.8	46	30	28	1.6	50	34	32	1.7	53	34	31	1.8	50	33	30	1.7	66	49	45	1.9
9月	63	37	33	3.9	57	32	28	3.7	63	36	33	4.1	63	36	32	4.2	62	35	31	4.0	77	50	46	3.9
10月	49	36	33	2.2	42	30	28	2.0	49	34	32	2.2	46	34	32	2.1	47	33	31	2.1	67	48	46	2.1
11月	52	36	34	1.7	48	31	28	1.7	51	35	32	1.8	53	35	32	1.7	51	34	31	1.8	66	49	46	1.8
12月	58	36	33	3.2	54	32	29	3.4	60	35	32	3.7	60	35	32	3.7	58	35	32	3.5	77	50	47	3.7
1月	48	35	33	1.2	44	30	28	1.3	48	34	32	1.4	51	34	31	1.5	52	34	32	1.5	67	48	45	1.5
2月	49	35	33	1.9	46	30	28	1.9	53	34	31	2.2	54	33	30	2.2	55	34	32	2.2	68	48	45	2.1
3月	19000	608	33	1206.8	21000	1567	27	2473.3	17000	465	31	973.2	16000	475	31	943.5	17000	696	30	1199.0	14000	468	45	842.9

MP全局舎の3月の線量率が高くなっているが、排気筒モニタ等のデータから当発電所の影響によるものではない。

備考
 測定器: 2" φ × 2" NaI (Tl) シンチレーション検出器 温度補償型 加温装置付
 なお、モニタリングステーションと異なり、下方2π鉛しやへいは使用していない。

7 女川原子力発電所の原子力災害対策特別措置法第10条に基づく通報について

1. 東日本大震災発生後の原子力発電所への影響

女川原子力発電所は、平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震により、全号機において原子炉が自動停止した。その後、1号機は3月12日0時58分、2号機は3月11日14時49分、3号機は3月12日1時17分に冷温停止したことを、原子力安全・保安院女川原子力保安検査官事務所の職員が発電所で確認している。

一方、東京電力株式会社福島第一原子力発電所は、平成23年3月11日に運転中だった1号機、2号機、3号機は原子炉が自動停止したが、全交流電源が喪失した。また、1号機及び2号機では、非常用炉心冷却装置の注水が不能になった。その後、3月12日から1号機における格納容器内の圧力の上昇が確認され、同日15時36分頃に水素爆発が発生し、大量の放射性物質が大気中に放出された。

2. 女川原子力発電所における原子力災害対策特別措置法第10条（以下「10条」という）に基づく通報の経緯

女川原子力発電所の敷地境界の放射線量を測定している東北電力株式会社のモニタリングポストの指示値が平成23年3月12日23時ごろより上昇し、3月13日0時頃に $5.7\mu\text{Sv/時}$ を計測し、同日1時50分に一時的に最大 $21\mu\text{Sv/時}$ となったことから、東北電力株式会社は、10条通報事象に該当するものと判断し、平成23年3月13日12時50分に、国、県等関係機関に通報を行った。

その後、指示値が低下し、平成23年3月15日23時20分に10条通報事象は解消した。

3. 女川原子力発電所における放射線量上昇の原因

平成23年3月12日から3月13日にかけて、女川原子力発電所敷地境界の放射線量を測定している6箇所のモニタリングポストの指示値が、同時に同程度まで上昇しており、発電所周辺の広範囲かつ均一に放射性物質が影響を及ぼしたものと考えられた。

また、モニタリングポスト及び排気筒放射線モニタの指示値の比較（図-5）により、モニタリングポストの指示値の上昇開始時間が、排気筒放射線モニタの指示値の上昇開始時間よりも前であることがわかった。これは、福島第一原子力発電所から発生した放射性プルームが、最初に屋外のモニタリングポストで検出され、その後、発電所建物内に外気を取り込む給気口などを經由して、排気筒へ排出されたものが、排気筒の放射線モニタによって検出されたものと考えられた。

この状況から、女川原子力発電所における放射線量の上昇は、福島第一原子力発電所の事故に由来するものであると推定された。

なお、この見解については、原子力安全・保安院から、平成23年3月13日付で公表されている。

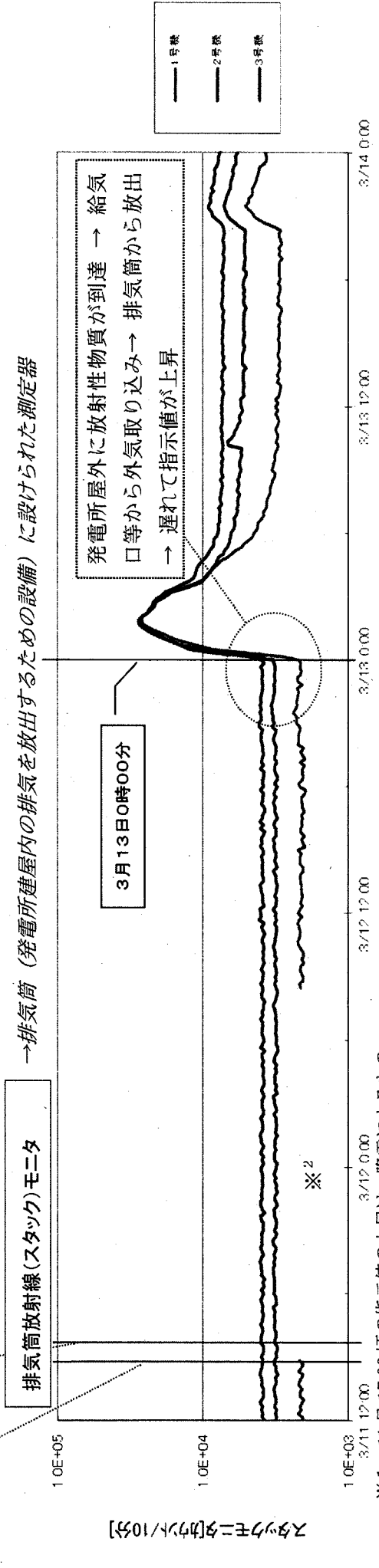
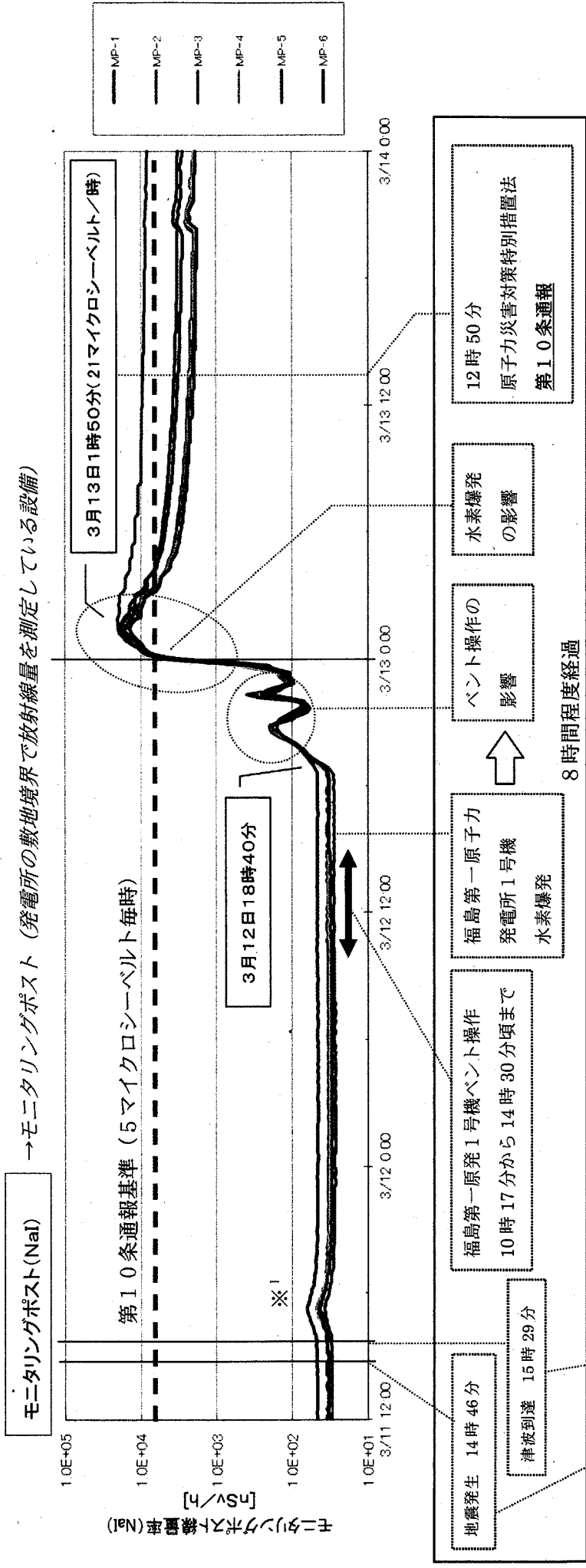
4. 宮城県の対応

県は、原子力安全・保安院から情報収集のうえ、女川原子力発電所の周辺における測定値の上昇は、福島第一原子力発電所の事故の影響と判断した。

その後、10条通報事象の解消後も、原子力安全・保安院との連絡・調整を密接に行い、女川原子力発電所の安全確認を継続して行った。

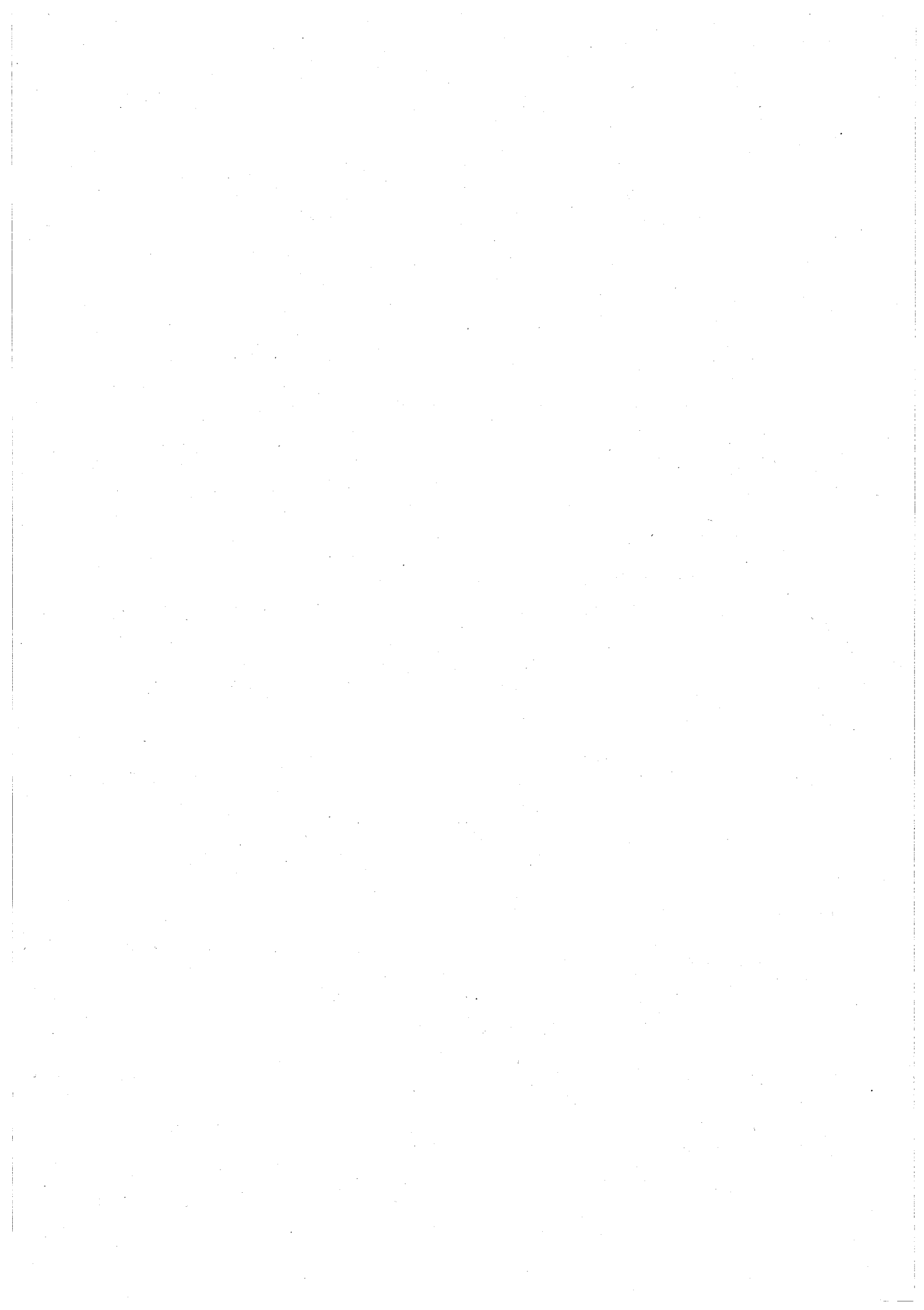
なお、指示値の上昇が福島第一原子力発電所の事故影響によるものとする判断については、平成23年11月14日に開催した女川原子力発電所環境保全監視協議会及び女川原子力発電所環境調査測定技術会の学識経験者による検討会においても妥当なものと評価された。

→モニタリングポスト (発電所の敷地境界で放射線量を測定している設備)



※1 11日17:00頃の指示値の上昇は、降雪によるもの。
 ※2 1号排気筒モニタの欠測(11日15:00~12日8:20)は、停電に伴い停止したことによるもの。

図-5 モニタリングポスト及び排気筒放射線モニタの指示値の比較



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

